ＴＭ－２４８３

プリンタ　ターミナル

取扱説明書

1WMPD4001774

A&D Medical

0811

ご注意

（1） 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

（2） 本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。

（3） 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り記載漏れなど、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

（4） 当社では本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

・ 2008 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載している商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号を表示しています。
警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、 ●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

プリンタ ターミナル（TM-2483）を正しく安全にお使いいただくために、以下の注意事項を熟読された上でお取扱いください。この注意事項は、機器の安全な取扱いの他、患者および操作者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。
機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用前に本取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本機を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。

⚠注意	
	下記の使用環境、保管場所でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度＋10℃～＋40℃、湿度 30%～85%RH（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度－20℃～＋55℃、湿度 95%以下の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠注意	
❗	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 他の機器との併用は正確な診断を誤らせたり、危険な状態になる恐れがあるので、接続の際は安全性を再点検すること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用の AC アダプタを使用すること。 ■ 当社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。 ■ 付属品やオプション品に添付された取扱説明書も熟読してから使用すること。 本書にはそれらの注意事項は記載していません。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。
⃠	■ 通信ケーブルコネクタに指定の血圧計以外は接続しないこと。

乾電池の取り扱いについて

⚠注意	
❗	■ 電池は電池ホルダ内の表示に従って＋、－を正しくセットすること。 ■ 使い切った電池はすぐに取り外し、6 本同時に新しい電池と交換すること。 ■ 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外すこと。 液漏れなどを起こし、本体を破損させる恐れがあります。 ■ 乾電池は、単三形アルカリ乾電池（6 本）を使用すること。
⃠	■ 新しい電池と古い電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないこと。 漏液、発熱、または破裂などを起こし、本体を破損させる恐れがあります。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠注意	
⃠	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ 周辺で携帯電話を使用しないこと。誤動作の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
❗	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
⃠	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 機器の動作を止め、電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に、「故障」「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社 ME 機器相談センターまでご連絡ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本機の電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本機の分解、および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります。

⚠注意	
	■ 手入れの際は乾燥した柔らかい布を使用すること。シンナー、ベンジン等揮発性の液体やぬれ雑巾等は使用しないこと。

7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意	
	■ 本機は、周囲に強い電磁波などが存在すると、波形に雑音が混入したり、誤動作を起こすことがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話等の使用 電波によって予期せぬ誤動作をする可能性があります。 □ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器などの電源を切るよう指導する。 ■ 電源コンセントを伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 □ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策する。 □ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 □ 他の電源コンセントから電源を取る。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） □ 装置を使用する前に、測定者、患者とも十分に放電を行う。 □ 部屋を加湿する。 ■ 落雷などによる影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 □ 無停電電源装置（JIS T0601-1 を満足している機種）を使用する。

開梱

⚠注意	
	■ 本機は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ
■ 本機は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店に連絡してください。なお、将来本機を輸送する場合は梱包材を保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、内容物に不足がございました場合には、お買い求め頂いた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「10. アクセサリ」を参照してください。

本体 ..... 1 個

標準付属品	プリンタ用紙	1 巻
	通信ケーブル（型名：AX-KO1502）	1 個
	ＡＣアダプタ（型名：AX-TB178）	1 個
	取扱説明書（本書）	1 冊
	保証書	1 枚
	添付文書	1 枚
	基本操作マニュアル	1 枚

目次

1. はじめに 3

2. 特長 3

3. 略語・記号の解説 4

4. 仕様 4

5. 各部の名称 5
5.1. 上面図 5
5.2. 背面図 6
5.3. 底面図 6
5.4. キー操作部 7
5.5. 表示部 8

6. 使用前の準備 10
6.1. ケーブルの接続（赤外線通信時は必要ありません） 10
6.2. 電源（ＡＣアダプタ・乾電池の使用） 11
6.3. プリンタ用紙の取り付け（交換） 12
6.4. 使用前点検 13
6.4.1. 電源投入前 13
6.4.2. 電源投入後 13

7. 操作方法 14
7.1. 操作全体の流れ 14
7.1.1. モデル選択 16
7.2. モデル １の操作・設定内容 17
7.2.1. 通信の準備 18
7.2.2. レポート形式設定 20
7.2.3. データ読込/プリント 23
7.2.4. 時刻／ID 設定 24
7.2.5. 測定間隔設定 26
7.2.6. 自動測定・モードⅢ（項目番号３）の設定 28
7.2.7. データクリア 31
7.2.8. 標準設定（標準設定/データクリア） 32
7.2.9. 設定内容印字 33
7.3. モデル ２の操作・設定内容 34
7.3.1. 通信の準備 35
7.3.2. レポート形式設定 36
7.3.3. データ読込／プリント 37
7.3.4. 時刻設定 38
7.3.5. 測定時刻アラーム設定 40
7.3.6. データクリア 42
7.3.7. 設定内容印字 43

8. 印刷 44
8.1. 印刷例 44
8.1.1. 印刷例 TM-2430 シリーズの印字例 (FP) 45
8.1.2. 印刷例 TM-2430 シリーズの印字例 (AU) 51
8.1.3. 印刷例 TM-2430 シリーズの印字例 (設定等) 53
8.1.4. UA PC シリーズの印字例 55

9. 保守 59
9.1. 保守点検と安全管理 59
9.2. 清掃 59

9.3. 修理を依頼される前に 59
9.4. エラーコード表 60
9.5. 廃棄 60

10. アクセサリ 60

11. アフターサービス・保証 61

12. 保証期間 61

13. 免責事項 61
13.1. 製品に関するご質問・ご相談窓口 61

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイのプリンタ ターミナル(TM-2483)をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、プリンタ ターミナル(TM-2483)の接続、設定、ならびに、保守、仕様について記述したものです。本機をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2. 特長

プリンタ ターミナル（TM-2483)は、専用通信ケーブルまたは赤外線通信により、TM-2430 シリーズ（携帯型自動血圧計 TM-2431C)、および、UA PC シリーズ（家庭向け上腕血圧計）で測定された血圧値、リストデータ等を印刷することが可能であり、以下の特長があります。

- ■ 血圧計（TM-2430 シリーズ）との通信は赤外線通信を採用。
- ■ 血圧計（TM-2430 シリーズ）の時刻、ID、および、自動測定機能を設定できます。
- ■ 血圧計（UA PC シリーズ）の時刻を設定できます。
  - □ TM-2430 シリーズ（携帯型自動血圧計 TM-2431C）
    - ・24 時間毎に血圧データ／脈拍データ／圧負荷データの統計処理結果､および､トレンドグラフをプリントします。統計処理結果は、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差です。
    - ・圧負荷データ（PRESSURE LOAD）は、最高血圧／最低血圧のそれぞれについて、任意に設定した値を超えている面積を算出します。(単位 mmHg･h)
    - ・統計処理を行う区分は 24 時間ブロックを基本にし、その中をインターバル・ブロックおよび任意に設定した起床時間帯／就床時間帯の結果をプリントします。
  - □ UA PC シリーズ（家庭向け上腕血圧計）
    - ・1 ヶ月毎に血圧データ／脈拍データの統計処理結果、および、トレンドグラフをプリントします。統計処理結果は、最高血圧／最低血圧／脈拍毎の平均値／標準偏差です。
    - ・統計処理、および、トレンドグラフの対象データは、時間範囲とは無関係に全データです。
    - ・最高血圧／最低血圧の値が、140／90 [mmHg]を越えている個数を算出します。2 ヶ月以上測定データがある場合は、血圧データを全てプリントした後に、血圧データのトレンドグラフ、脈拍データのトレンドグラフの順に全てプリントします。

3. 略語・記号の解説

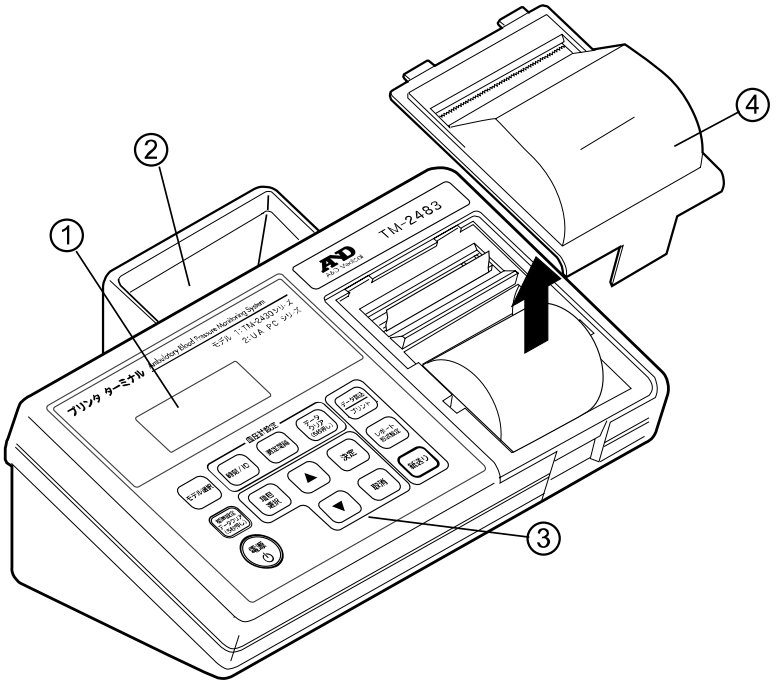
記号(シンボル)	解　説
⚠	注意記号：添付文書、取扱説明書を参照。
⏀	ＡＣアダプタジャック極性表示（直流入出力：極性表示（統一形)）
⏻	電源のＯＮ、ＯＦＦ　（装置の待機状態（スタンバイ）表示）
🕮	取扱説明書参照のこと。

4. 仕様

項　目	仕　様
印字方式	直接感熱式
プリンタ用紙	直径 50mm × 幅 58 mm
外形寸法	約 220mm(W) × 180mm(D) × 90mm(H)　突起部を除く
表示	LCD
本体質量	約 580g
通信機能	シリアル通信　：EIA RS-232C 規格準拠 赤外線通信　　：IrDA SIR1.0 規格準拠
電源	AC アダプタ（専用)、単三形アルカリ乾電池　6 本
消費電力	最大 9.6W 以下
使用環境	温度： +10℃～ +40℃、湿度： 30%RH～85%RH（結露なきこと）
保存環境	温度： -20℃～ +55℃、湿度： 95%RH 以下（結露なきこと）
販売名	プリンタ　ターミナル
型名	TM-2483

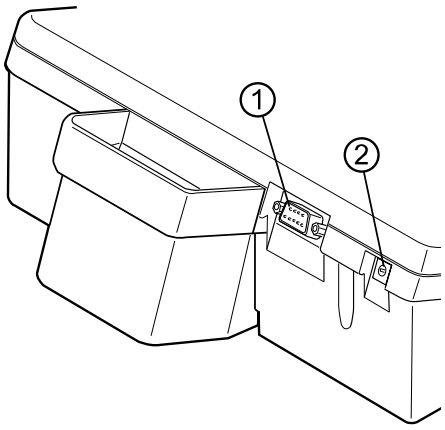
5. 各部の名称

5.1. 上面図



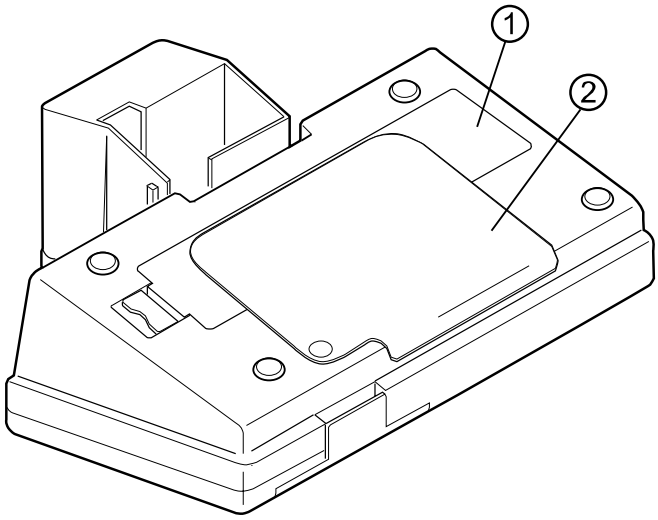
番号	名　称	説　明
①	表示部	ＬＣＤにより、モデル番号や動作状態を表示します。
②	TM-2430 シリーズ挿入用ポケット	TM-2430 シリーズの赤外線通信を行う際に、TM-2430 シリーズを挿入します。
③	キー操作部	操作、設定を行います。
④	プリンタ用紙カバー	プリンタ用紙のカバーです。

5.2. 背面図



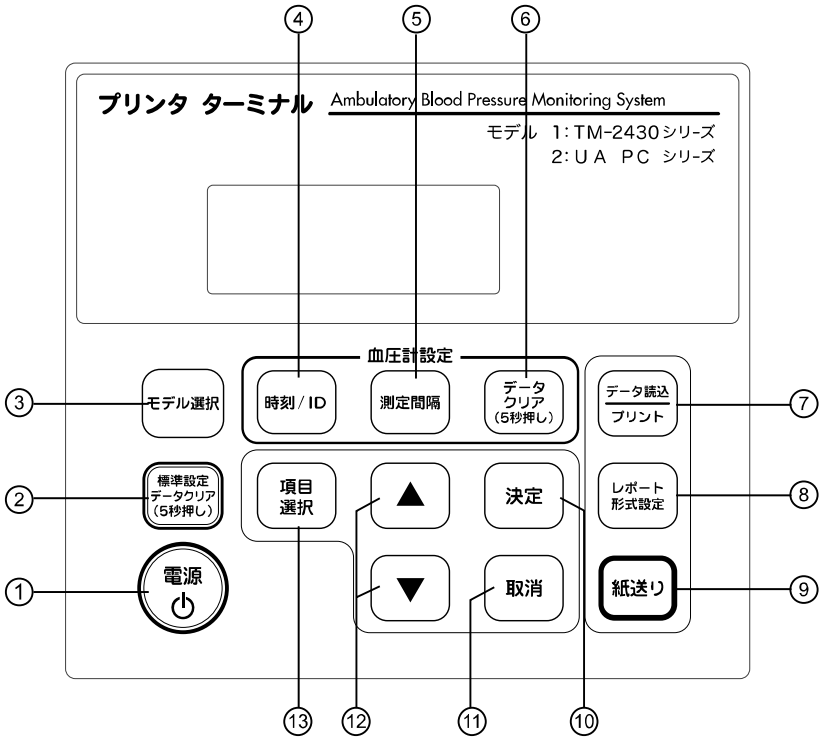
番号	名　称	説　明
①	通信ケーブルコネクタ	通信ケーブルを接続します。(RS-232C 通信)
②	ＡＣアダプタ入力ジャック	TM-2483 のＡＣアダプタを接続します。

5.3. 底面図



番号	名　称	説　明
①	電池ホルダ	電源として乾電池を使用する場合の乾電池ホルダです。
②	簡易マニュアル	操作方法の簡単な説明が記述してあります。

5.4. キー操作部

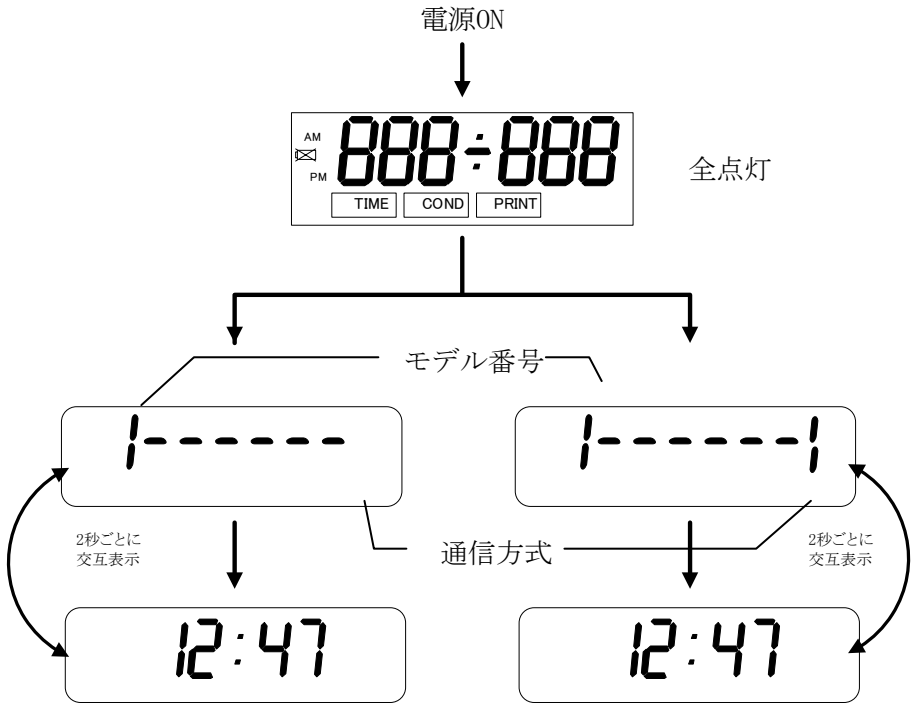


番号	キー	説　明
①	電源	電源の ＯＮ／ＯＦＦを行います。
②	標準設定 データクリア (5秒押し)	血圧計の各設定を標準的なパターンに設定し、測定データをクリア(削除)します。（モデル：TM-2430シリーズのみ接続します。）
③	モデル選択	接続する血圧計モデルを選択します。
④	時刻 / ID	時刻／ＩＤの設定をする状態にします。
⑤	測定間隔	測定間隔の設定をする状態にします。
⑥	データ クリア (5秒押し)	血圧計の測定データを消去します。
⑦	データ読込 プリント	血圧計より測定データを読込、記憶しているレポート形式にてプリントします。
⑧	レポート 形式設定	レポート形式の設定をする状態にします。
⑨	紙送り	紙送りを行います。
⑩	決定	設定状態のとき、変更した設定値の決定を行います。
⑪	取消	通信、プリント、設定の中止を行います。
⑫	▲ ▼	設定状態のとき、設定値の変更を行います。
⑬	項目 選択	設定状態のとき、項目の変更を行います。

5.5.　表示部

●スタンバイ状態

電源キーをＯＮすると、下図のようにＬＣＤが全点灯した後、スタンバイ状態の表示になります。スタンバイ状態時、ＬＣＤ表示部は、接続モデル番号と通信方式、および、設定されている時刻を２秒ごとに交互に表示します。
（接続モデル：TM-2430 シリーズの例）

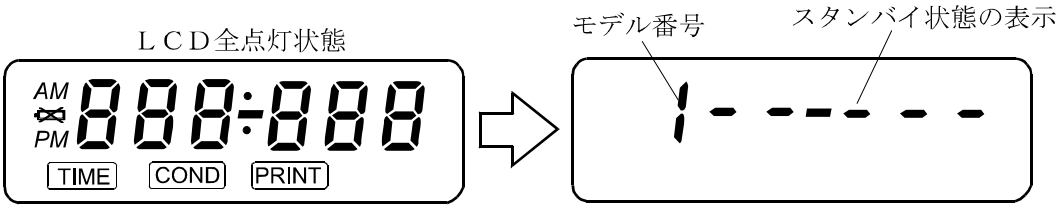


※通信方式の表示

IrDA対応　　RS-232C対応

●接続モデルの表示

モデル番号とモデル名（機種名）の対応は下表の通りです。

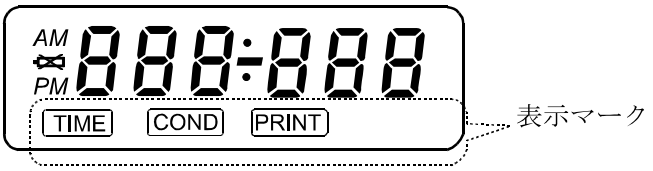


モデル番号とモデル名（型名）の対応

モデル番号	モデル名（型名）
1	TM-2430　シリーズ
2	UA　PC　　シリーズ

●表示マークの説明

ＬＣＤ全点灯状態



表示マーク	説　明
TIME 点灯	時刻／ＩＤの設定時に点灯します。（モデル番号１、２対応）
COND 点灯	測定間隔の設定時に点灯します。（モデル番号１、２対応）
PRINT 点灯	レポート形式の設定時に点灯します。（モデル番号１のみ対応）
PRINT 点滅	プリントしているときに点滅します。（モデル番号１、２対応）

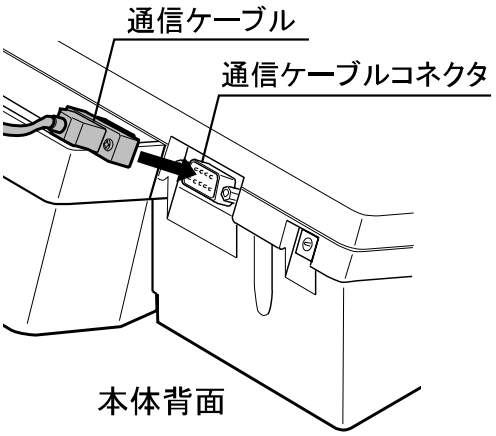
●電池不足の表示

電池動作時に、電圧が減少すると“　Lb”表示になります。新しい電池に交換するか、ＡＣアダプタを接続してください。

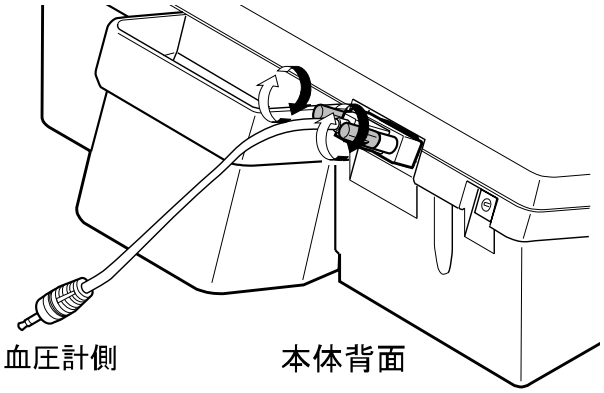
6. 使用前の準備

6.1. ケーブルの接続（赤外線通信時は必要ありません）

① プリンタ本体背面の通信ケーブルコネクタに付属の通信ケーブル
（AX-KO1502）を差し込みます。



② 通信ケーブルの左右のネジを時計回りに回し、固定します。
（ケーブルの形状、固定形式は実際のものと異なる場合があります。）

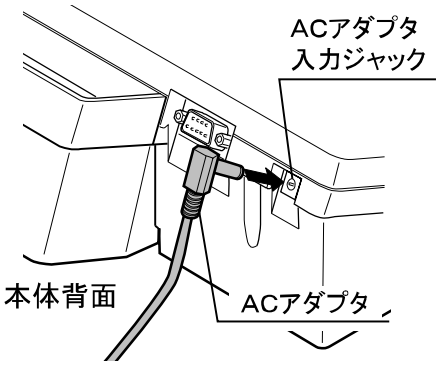


6.2. 電源（ＡＣアダプタ・乾電池の使用）

⚠注意	
❗	■ 電池はホルダの表示に従って＋、－を正しくセットしてください。 ■ 使い切った電池はすぐに取り外し、6 本同時に新しい電池と交換してください。 ■ 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り外してください。 液漏れなどを起こし、本体を破損させる恐れがあります。
⃠	■ 新しい電池と古い電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。 漏液、発熱、または破裂などを起こし、本体を破損させる恐れがあります。

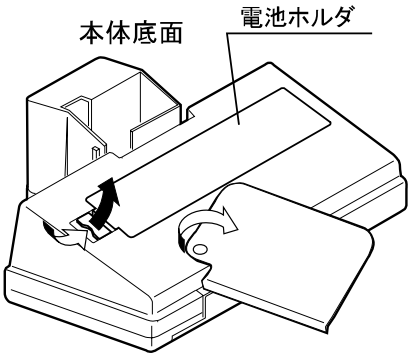
●AC アダプタを使用する場合

① プリンタ背面のＡＣアダプタ入力ジャックに付属のＡＣアダプタを差し込み、もう一方のプラグをコンセントに差し込んでください。

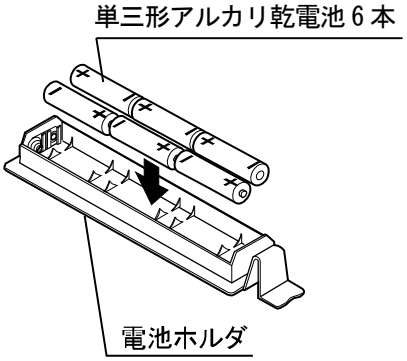


●乾電池を使用する場合

① プリンタ本体を裏返し、電池ホルダを本体から外します。



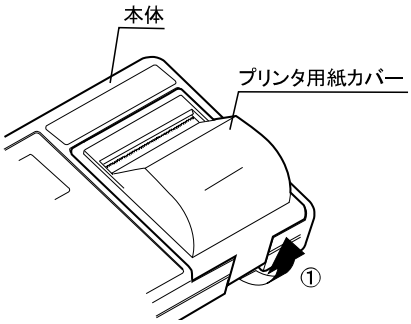
② 電池ホルダに単三形アルカリ乾電池を 6 本セットし、本体に戻します。



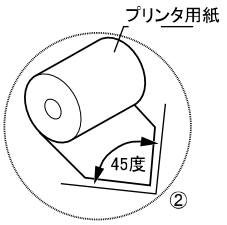
お知らせ
■ AC アダプタが差し込まれている場合は、AC アダプタを優先します。 ■ 電池動作をしている場合、何も操作しない状態で 5 分間放置していると、電池が自動的に OFF になります。

6.3. プリンタ用紙の取り付け（交換）

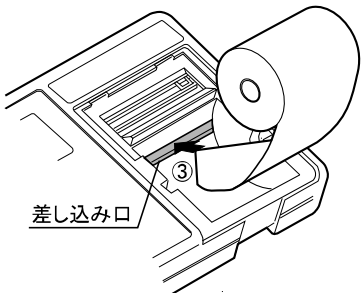
① プリンタ用紙カバーを外します。



② プリンタ用紙の先端を右図のように切ります。

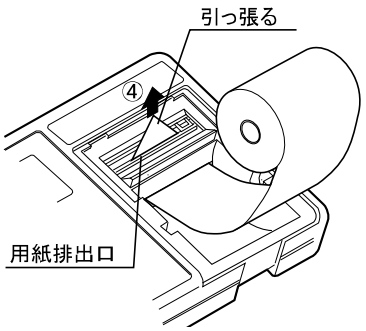


③ プリンタ用紙の先端をプリンタ用紙差し込み口に挿入します。



④ プリンタ用紙の先端がプリンタ用紙排出口から出てきたら、ゆっくり引き出します。

⑤ プリンタ用紙の先端部分が排出口から全て出てから紙送りキーを押し、正常に紙送りすることを確認します。もし、正常に紙送りしない場合はもう一度やり直してください。



⑥ 正常に紙送りすることが確認できたら、プリンタ用紙カバーのカッター部にプリンタ用紙を差し込み固定します。

お知らせ

- プリンタ用紙の装着方向及び表裏を間違えると、印字しません。
- プリンタ用紙は弊社の純正品をご使用ください。純正品以外を使用した場合、印字が薄くなったり、紙詰まり等の故障の原因となります。
- プリンタ用紙は残り約 60㎝ になると、ピンク色のエンドマーク（両側にピンク色の線）が出てきますので、プリンタ用紙を新しいものと交換してください。
- プリンタ用紙は感熱紙を使用しています。変色したり、印字が退色したりしますのでご注意ください。
  - □ 変色させるものの例
    糊、有機溶剤を含むサインペン、接着剤。
  - □ 退色させるものの例
    蛍光ペン、テープ、保存するときの透明ケース、下敷き、日光、紫外線

測定結果を保存する場合はコピーを取って保存してください。

6.4. 使用前点検

⚠注意	
	■ 本機を使用する前に、本機の性能および安全性、有効性を維持するため、始業前点検は必ず行ってください。

電源投入前、投入後に下記点検を行い、問題ないことを確認してご使用ください。
問題があれば使用を中止し、機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社修理窓口へお問い合わせください。

6.4.1. 電源投入前

番号	項　目	内　容
1	外観	落下等による変形、破損がないこと
		スイッチ等に破損やガタつきがないこと
2	通信ケーブルコネクタ	接続端子のガタ、破損がないこと
3	電源(アダプタ、電池)	本体のコネクタ部にプラグが確実に挿入されていること
		AC アダプタ、プラグが破損していないこと
		電池使用の場合、電池が消耗していないこと
4	印刷	プリンタ用紙が装着されていること

6.4.2. 電源投入後

番号	項　目	内　容
1	電源投入	発火、発煙、異臭がないこと
		異常音がないこと
2	表示部	表示上で異常がないこと
3	操作部	操作スイッチ類の動作に異常はないこと
3	印刷部	正常に印字され異常音等発生しないこと

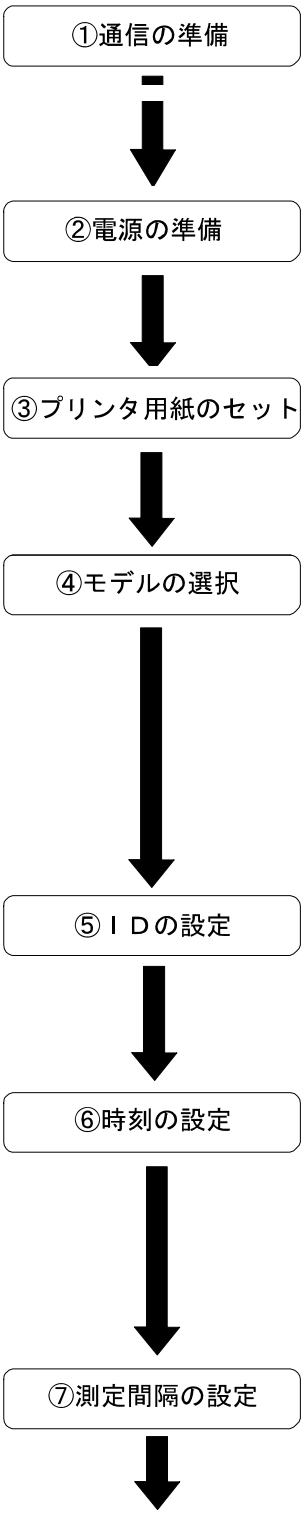
上記の「始業前点検」は、血圧計の「始業前点検」項目と併せてご確認ください。

7. 操作方法

7.1. 操作全体の流れ

モデル１（TM-2430 シリーズ）について操作全体の流れを説明します。本機をご使用の際は、この操作全体の流れをよく理解してから行ってください。
他のモデルについても同様の流れですが、詳しくはそれぞれの章の下記項目をご覧ください。

◇モデル１の場合「7.2 モデル１の操作・設定内容」
◇モデル２の場合「7.3 モデル２の操作・設定内容」



① ケーブルの接続または、血圧計本体を背面のポケットに入れて、通信の準備をしてください。

※ 詳しくは下記項目をご覧ください。
◇モデル１の場合：「7.2.1 通信の準備」
◇モデル２の場合：「7.3.1 通信の準備」

② ＡＣアダプタを接続してください。（または、電池をセットしてください。）電源キーを押して、電源をＯＮしてください。

※詳しくは「6.2 電源」をご覧ください。

③ プリンタ用紙をセットしてください。

※詳しくは「6.3 プリンタ用紙の取り付け」をご覧ください。

④ モデル選択 キーを押し、接続するモデルを選択してください。

モデル番号	モデル名
1	TM-2430 シリーズ
2	UA PC　シリーズ

※詳しくは「7.1.1 モデル選択」をご覧ください。

⑤ 時刻／ＩＤ キーを押し、ＩＤを設定してください。

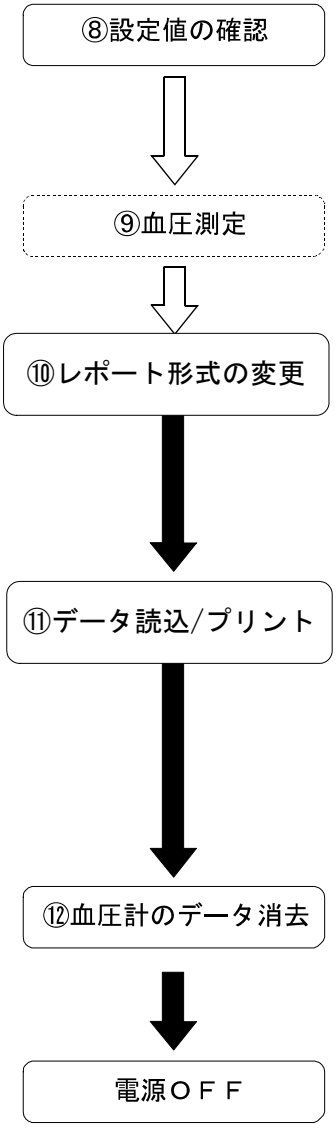
※詳しくは下記項目をご覧ください。
◇モデル１の場合：「7.2.4 時刻/ＩＤ設定」
◇モデル２の場合：ID 設定なし

⑥ 時刻／ＩＤ キーを押し、時刻を設定してください。時刻とＩＤは、同時に設定出来ますので、同時に変更することをお勧めします。

※詳しくは下記項目をご覧ください。
◇モデル１の場合：「7.2.4 時刻/ＩＤ設定」
◇モデル２の場合：「7.3.4 時刻設定」

⑦ 測定間隔 キーを押し、血圧計の自動測定の間隔を設定してください。

※詳しくは下記項目をご覧ください。
◇モデル１の場合：「7.2.5 測定間隔設定」
◇モデル２の場合：「7.3.5 測定時刻アラーム設定」



⑧ 決定 キーを押してください。血圧計および本機の設定内容のプリントを開始します。

※詳しくは下記をご覧ください。

◇モデル１の場合：「7.2.9 設定内容印字」
◇モデル２の場合：「7.3.7 設定内容印字」

⑨ 血圧計の使用者が、血圧測定を行います。

※詳しくは各血圧計の取扱説明書をご覧ください。

⑩ レポート形式を変更したい時に レポート形式設定 キーを押し、設定を行います。

※詳しくは下記をご覧ください。

◇モデル１の場合：「7.2.2 レポート形式設定」
◇モデル２の場合：「7.3.2 レポート形式設定」

⑪ データ読込／プリント キーを押してください。データ読込した後、自動的にプリントを開始します。

◇モデル１の場合：「7.2.3 データ読込/プリント」
◇モデル２の場合：「7.3.3 データ読込/プリント」

※ レポート形式は、前回設定した形式でプリントします。

⑫ 次回の血圧測定のために、記憶しているデータを消去します。

データクリア キーを５秒間押し、データを消去します。

※詳しくは下記をご覧ください。

◇モデル１の場合：「7.2.7 データクリア」
◇モデル２の場合：「7.3.6 データクリア」

お知らせ

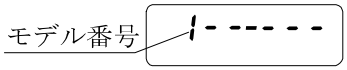
- 操作および設定の必要がない場合は、スキップしてください。
- 設定の変更がない場合、⑪データ読込/プリントと⑫血圧計のデータ消去を行うだけで、データ処理をすることができます。
- 血圧計と接続していない状態で⑥時刻の設定を行うと本体(TM-2483)の時刻設定をします。その場合、本体(TM-2483)内の時計を設定し設定内容を印字後、スタンバイ状態に戻ります。

7.1.1.　　モデル選択

操作全体の流れを十分理解し、本プリンタの準備が出来ましたら（「6. 使用前の準備」が終了した状態)、まず初めに接続する血圧計のモデルを選択します。

① 電源キーを押し、電源をＯＮにするとスタンバイ状態となります。(時計とモデル番号表示を２秒ごとに交互に表示します)

② モデル選択キーを押し、接続したい血圧計のモデルを選択します。モデル番号と接続する血圧計のモデル名の対応は下表の通りです。



モデル番号	モデル番号	参照する章
1	TM-2430 シリーズ	「7.2 モデル１の操作・設定内容」
2	UA PC　シリーズ	「7.3 モデル２の操作・設定内容」

●以降の操作について

接続する血圧計のモデル番号を選択後、以下の操作を行いますが、詳しい内容については血圧計の機種ごとに異なりますので上表の“参照する章”を参考に行ってください。

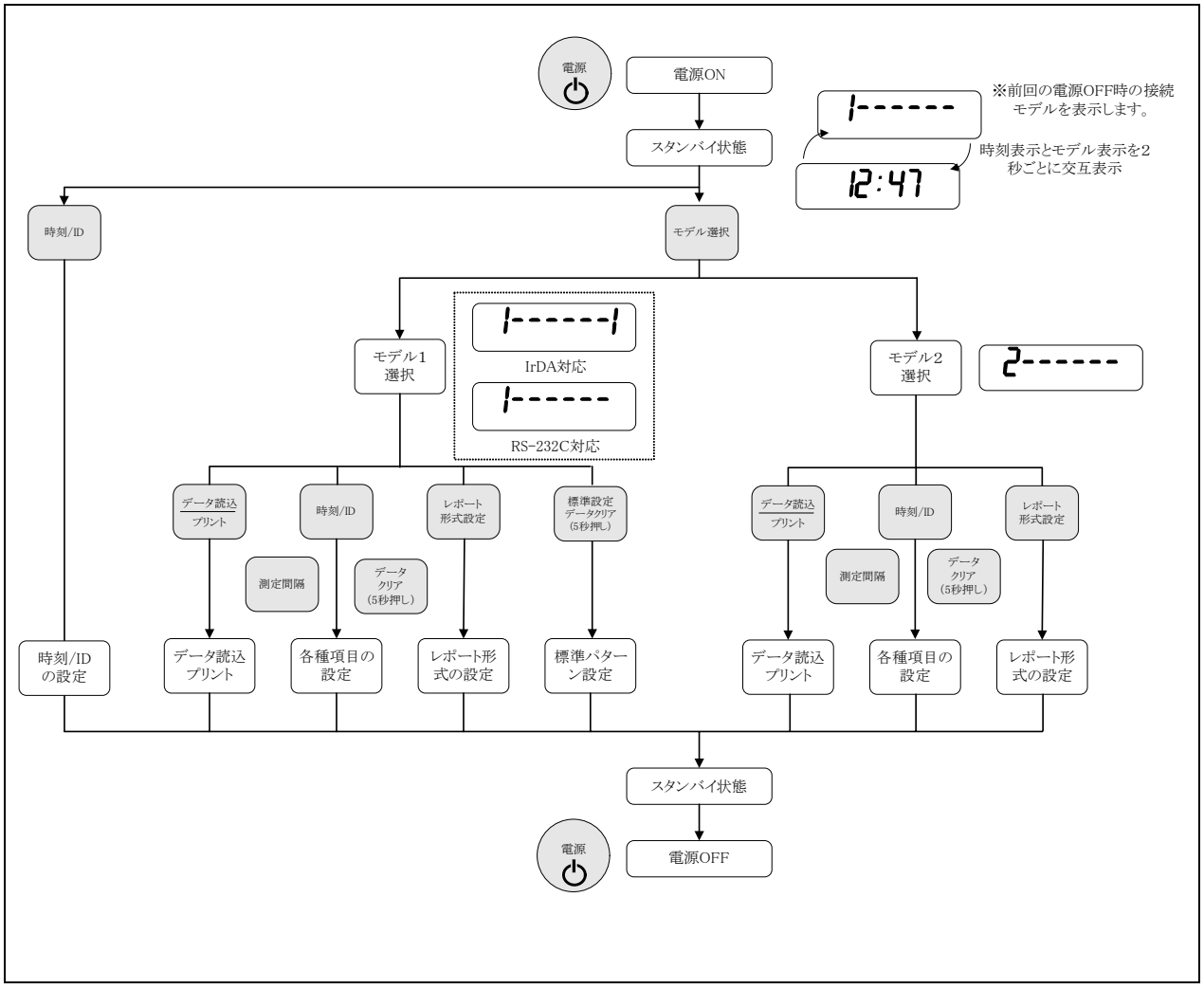
③血圧計と配線（赤外線通信を除く）をし、血圧計の通信準備をします。

④測定データ読込 、各種の設定 、レポート形式設定、標準設定等を行います。

⑤各動作が終了するとスタンバイ状態に戻ります。そのまま、④を繰り返すことが可能です。

⑥作業終了後、電源キーを押すと電源をＯＦＦにして終了となります。

また、操作全体の概要を下図のフローチャートに示します。

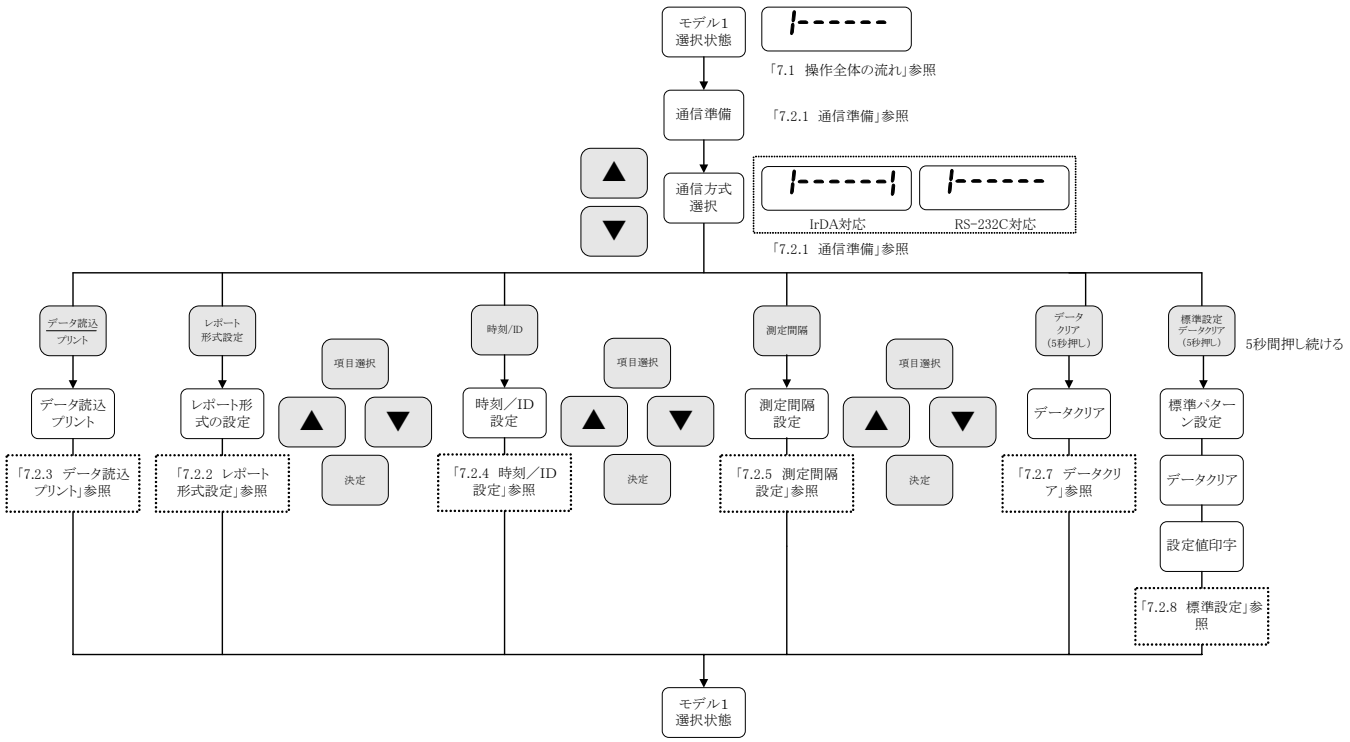


7.2.　モデル　1の操作・設定内容

「7.1 操作全体の流れ（7.1.1 モデル選択）」でモデル１を選択した場合、以降の操作概要を下図のフローチャートに示します。

モデル名：TM-2430 シリーズ

“モデル１”を選択した場合、各設定の内容について下表に示します。モデル１では、本機TM-2483のすべての機能を使用できます。詳しい設定方法については、下表の“参照する章”を参考にして設定してください。また、モデル１では、通信方法として「通信ケーブルによる通信」と「赤外線通信」を選択できます。それぞれの内容については、「7.2.1 通信の準備」を参照してください。



機能名称	内　容	参照する章
レポート形式 設定	測定データのレポートの形式を設定します。	「7.2.2 レポート形式設定」
データ読込 プリント	測定データの読込、および測定データのプリント	「7.2.3 データ読込プリント」
時刻／ＩＤ　設定	時刻の設定 ＩＤ番号の設定 血圧計の測定結果の表示 ＯＮ／ＯＦＦの設定	「7.2.4 時刻/ＩＤ設定」
測定間隔　　設定	血圧計の自動測定する間隔を設定します。	「7.2.5 測定間隔設定」
データクリア	血圧計の測定データを消去します。	「7.2.7 データクリア」
標準設定	時刻およびID、測定間隔を標準的な値に設定します。 データクリアを行い、設定値を印字します。	「7.2.8 標準設定」

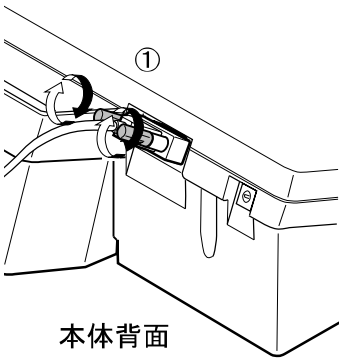
7.2.1. 通信の準備

モデル１では、通信方法として「通信ケーブルによる通信」と「赤外線通信」を選択できます。
それぞれの内容について以下に示します。

⚠注意

- ■ 通信が終了したら血圧計からケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。
- ■ 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示に戻ります。

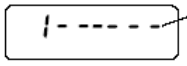
●通信ケーブルによる通信（RS-232C 通信）



本体背面

① 本機の背面のコネクタに、付属の通信ケーブルを接続します。
（「6.使用前の準備」参照）

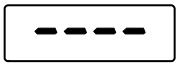
② ▲ ▼キーを押し、通信方式を選択します。
通信ケーブルによる通信を選択するには、ＬＣＤ表示の一番右側を「ー」表示にします。

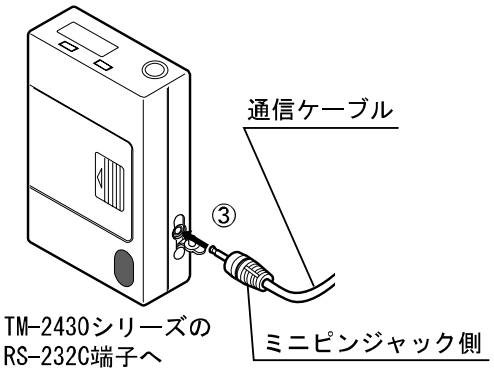


(ケーブル通信の場合)

※選択後、自動的に通信方式が確定し、数秒でスタンバイ状態に戻ります。

③ 付属の通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計(TM-2430 シリーズ)に接続します。血圧計(TM-2430 シリーズ)の表示が以下のようになります。

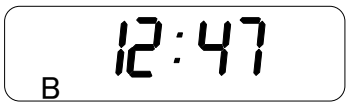




④ 血圧計の表示が変ったら、ケーブルによる通信準備の完了です。

⚠注意

- ■ 血圧計のバッテリ残量が少ないと血圧計は通信モードになりません。
  血圧計の表示が次の場合には、血圧計のバッテリを交換してください。



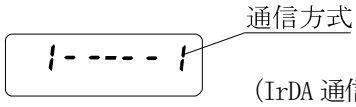
●赤外線による通信（IrDA 通信）

⚠注意	
❗	■ 血圧計を赤外線通信状態（ - - - I 表示）のまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。通信が終了しましたら、自動　入／切スイッチを押し、赤外線通信状態を解除してください。 ■ 赤外線通信状態を解除すると、血圧計は時計表示に戻ります。

お知らせ
■ 赤外線通信は、赤外線通信機能付きの血圧計（TM-2430 シリーズ）との通信が可能となります。通信機能が付いていない機種は対応できませんのでご注意ください。

◇本機の赤外線通信モードへの移行設定

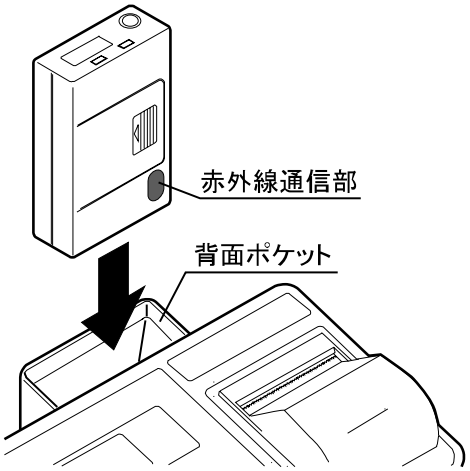
① ▲ ▼ キーを押し、通信方式を選択します。
赤外線による通信を選択するには、ＬＣＤ表示の一番右側を「Ｉ」表示にします。



（IrDA 通信の場合）

② 血圧計(TM-2430 シリーズ)を本機背面のポケットに入れます。
血圧計の挿入方向を間違えないように挿入してください。
(右図参照)

② TM-2430シリーズ



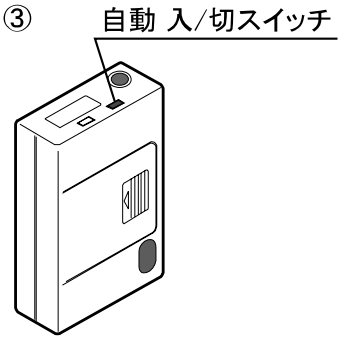
◇血圧計の赤外線通信モードへの移行設定

③ 血圧計の 自動　入／切 スイッチを押します。

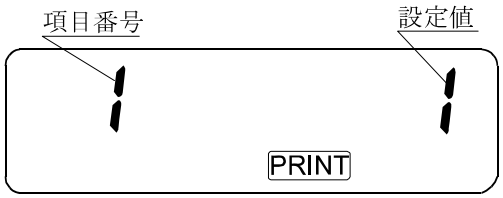
④ 1 秒以上押し続けて、血圧計の表示を - - - I とします。

⑤ 血圧計の表示が変ったら、赤外線による通信準備の完了です。

③ 自動 入/切スイッチ



7.2.2. レポート形式設定



●内容説明

・レポート形式設定は、本機の各条件を設定します。血圧計の測定データおよび時刻等は、変更されません。
・レポート形式設定キーを押すと、上記の表示となります。
・レポート形式の設定中は、PRINT マークが点灯します。
・レポート形式の設定終了時には、設定内容確認プリントを行います。
・レポート形式は、電源をＯＦＦしても記憶しています。
・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1	0 ～ 7	印字形式 0 ･･･ テーブル＋血圧グラフ 1 ･･･ テーブル＋血圧グラフ＋脈拍グラフ＋圧負荷グラフ 2 ･･･ テーブル＋血圧グラフ＋脈拍グラフ 3 ･･･ テーブル＋圧負荷グラフ 4 ･･･ テーブル 5 ･･･ 血圧グラフ 6 ･･･ 脈拍グラフ 7 ･･･ 圧負荷グラフ
2	AU、FP、 0 ～ 23	処理開始時刻 AU ：最初の測定から1時間までの処理、及び信頼性のないデータ（次ページお知らせ参照）は24時間統計処理から除外（印字は全てのデータを印字し、除外するデータに“AE”マークを印字） FP ：最初のデータから全てのデータを処理 0 ～ 23 ： 設定した時刻から全てのデータを処理
3	0 ～ 23	就床時間
4	0 ～ 23	起床時間
5	100 ～ 180 (出荷時 135)	起床時の最高血圧閾値（5mmHg ステップでの設定）
6	50～130 (出荷時 85)	起床時の最低血圧閾値（5mmHg ステップでの設定）
7	100～180 (出荷時 120)	就床時の最高血圧閾値（5mmHg ステップでの設定）
8	50～130 (出荷時 75)	就床時の最低血圧閾値（5mmHg ステップでの設定）
9	－	初期設定 印字形式 0 処理開始時刻 ＡＵ 就床時間 ２２時 起床時間 ６時 起床時 最高血圧閾値 １３５[mmHg] 起床時 最低血圧閾値 ８５[mmHg] 就床時 最高血圧閾値 １２０[mmHg] 就床時 最高血圧閾値 ７５[mmHg]

※項目番号９にして決定 キーを押すと、全てのレポート形式設定値を初期設定にして、設定を終了します。

お知らせ

■ 項目番号2の設定値AUにおける除外データ

①最初の測定から1時間は、データは別途（24時間統計処理データの前に区別して）印字し、24時間統計処理に使用しません。

・最初の1時間の判定

最初の測定が、9:00の場合、9:00～9:59の処理データを除外します。

最初の測定が、9:01の場合、9:01～10:59の処理データを除外します。

②信頼性のないデータには除外マーク“AE”を印字し、24時間統計処理に使用しません。

・次の条件の場合、リストに除外マーク“AE”が付きます。

SBP ＜ 70mmHg
SBP ＞ 250mmHg
DBP ＜ 30mmHg
DBP ＞ 130mmHg
脈圧 ＜ 20mmHg
脈圧 ＞ 160mmHg
脈圧 ≦ 0.41＊DBP（60～150mmHgの範囲）－ 17 mmHg

・時刻設定を過去に戻した場合、戻された期間のデータは除外マーク“AE”が付きます。

※SBP、DBPはそれぞれ最高血圧、最低血圧を表します。

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で レポート形式設定キーを押します。

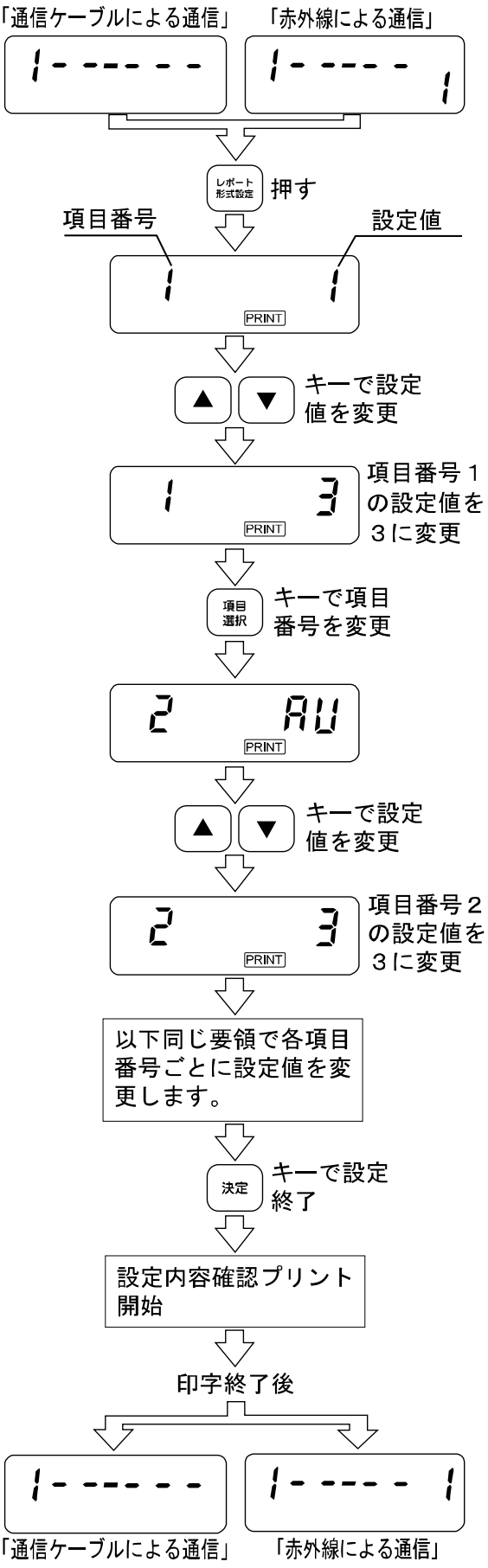
② PRINT マークが点灯し、項目番号「1」と現在設定されている設定値を表示します。

③ 設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号１（印字形式）の設定値を３（テーブル＋圧負荷グラフ）に変更しています。

④ 項目番号を変更する場合は、 項目選択 キーを押して変更してください。また、設定値を変更する場合は ▲ ▼ キーで変更してください。
※設定例では、項目番号２（処理開始時刻）の設定値を３（3時）に変更しています。

⑤ 変更が必要な場合は、以下同じ要領で各項目番号を選択し、設定値を変更してください。

⑥ 変更が終了したら決定 キーを押し、設定を終了してください。
※設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

- 決定キーを押さずに取消キーを押すと、レポート形式設定を中止します。この場合、レポート形式は変更されません。
- 項目番号９にて決定キーを押すと、全てのレポート形式設定が初期設定に戻されて設定を終了しますので、ご注意ください。

7.2.3.　データ読込/プリント

●内容説明

・データ読込／プリント キーを押すと、血圧計より測定データを読込みます。続いて、設定されているレポート形式にしたがい測定結果をプリントします。

・印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです

印字形式	内　容
0	テーブル＋血圧グラフをプリントします。
1	テーブル＋血圧グラフ＋脈拍グラフ＋圧負荷グラフをプリントします。 （「8.　印刷」（TM-2430シリーズの印字例）を参照）
2	テーブル＋血圧グラフ＋脈拍グラフをプリントします。
3	テーブル+圧負荷グラフをプリントします。
4	テーブルのみをプリントします。
5	血圧グラフのみをプリントします。
6	脈拍グラフのみをプリントします。
7	圧負荷グラフのみをプリントします。

※印字形式を含めたレポート形式の設定方法については「7.2.2 レポート形式設定」を参照してください。

●手順

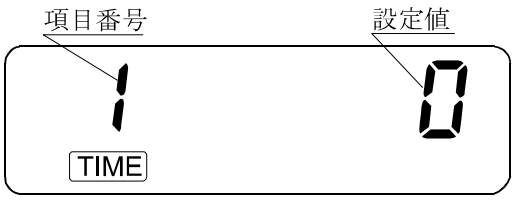
① 通信の準備が出来ているか確認してください。
（「7.2.1 通信の準備」参照）

② データ読込／プリントキーを押します。
血圧計より測定データを読込みます。

③ つづいて、プリントを開始します。プリント中は PRINT マーク が点滅します。

④ プリントが終了すると、PRINT マークが消灯します。

7.2.4.　時刻／ID設定



●内容説明

・時刻／ＩＤ 設定は、血圧計（TM-2430 シリーズ）に各条件を設定します。
・時刻／ＩＤ キーを押すと、上記の表示となります。
・時刻／ＩＤの設定中は、TIME マークが点灯します。
・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
1	0,1	表示機能の ON／OFF 0 ・・・・・ OFF(血圧計の結果を表示しない) 1 ・・・・・ ON（血圧計の結果を表示する）
2	1 ～ 99	ID 番号
3	1997 ～ 2096	年（西暦４桁）
4	1 ～ 12	月
5	1 ～ 31	日（年・月を参照し、設定範囲を自動調整）
6	0 ～ 23	時（２４時間表記）
7	00 ～ 59	分（常に２桁表示）

※表示機能のON/OFFについては、血圧計の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

お知らせ

■ 血圧計との接続が完了していない状態で時刻／ＩＤキーを押した場合、項目番号１、２をスキップし、本機内の日付時刻の設定モードになります。
設定変更後、決定キーを押すと本機内の日付時刻設定を更新します。

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で 時刻／ＩＤ キーを押します。

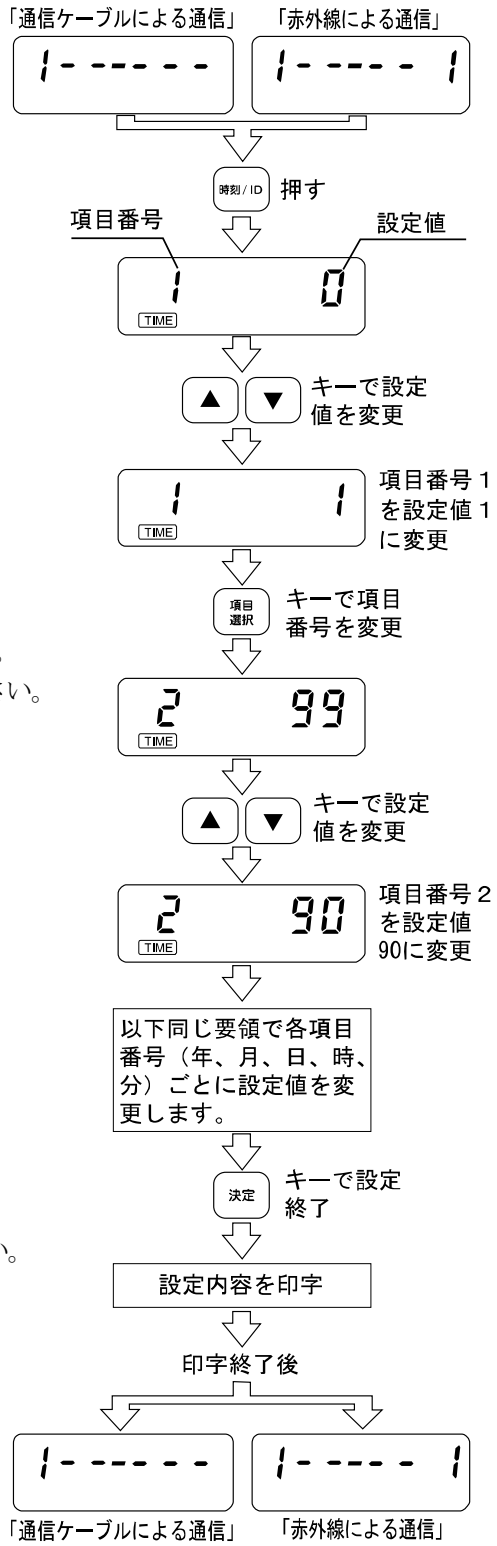
② TIME マークが点灯し、項目番号 「1」と、接続されている血圧計に現在設定されている設定値を表示します。

③ 設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号１（表示機能ＯＮ／ＯＦＦ）の設定値を１（ＯＮ）に変更しています。

④ 項目番号を変更する場合は、項目選択 キーを押し変更してください。
また、設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーで変更してください。
※設定例では、項目番号２（ＩＤ番号）の設定値を９０に変更しています。

⑤ 変更が必要な場合は、以下同じ要領で各項目番号を選択し、年、月、日、時、分の設定値を変更してください。

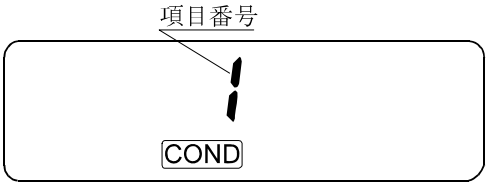
⑥ 変更が終了したら 決定 キーを押し、設定を終了してください。
※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

■ 決定キーを押さずに取消キーを押すと、「時刻/ID」設定を中止します。この場合、「時刻/ID」の内容は変更されません。

7.2.5.　測定間隔設定



●内容説明

・測定間隔設定は、血圧計（TM-2430 シリーズ）に自動測定する測定間隔を設定します。
・測定間隔 キーを押すと、上記の表示となります。
・測定間隔の設定中は、COND マークが点灯します。
・項目番号の説明を下表に示します。

項目番号 (モード)	設定内容
1	自動測定・モードⅠ 06:00 ～ 21:59　15 分間隔 22:00 ～ 05:59　30 分間隔
2	自動測定・モードⅡ 「S」マーク消灯時　15 分間隔 「S」マーク点灯時　30 分間隔
3	自動測定・モードⅢ 最大６ブロックを任意設定 決定 キーで設定が継続。

※ 測定間隔の詳細については、血圧計（TM-2430 シリーズ）の取扱説明書をよくお読みください。

※ 初期設定値はモードⅠです。

●設定手順

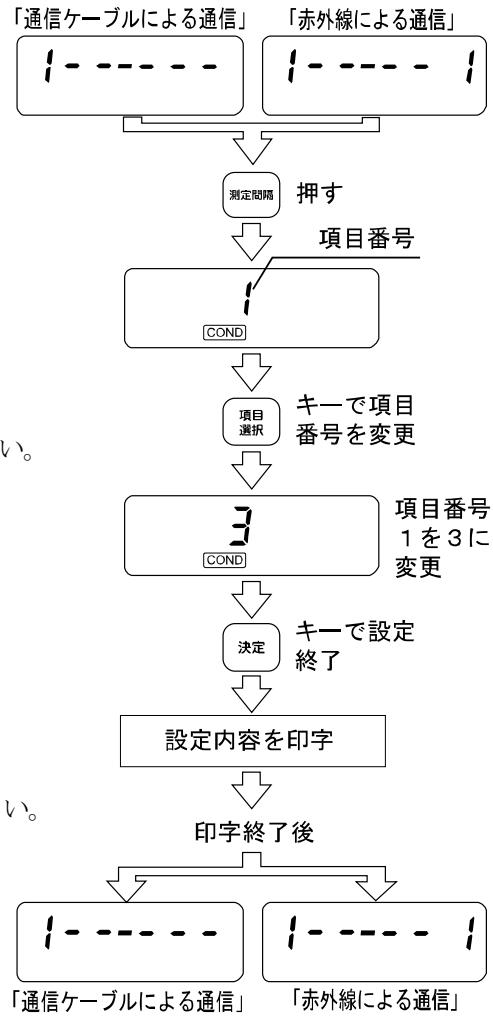
① 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で 測定間隔 キーを押します。

② COND マーク が点灯し、接続されている血圧計に設定されている項目番号を表示します。

③ 項目番号を変更する場合は、項目選択 キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号１（自動測定モードⅠ）を３（自動測定モードⅢ）に変更しています。
※自動測定モードⅠは初期設定値です。

④ 変更が終了したら 決定 キーを押し、設定を終了してください。
(項目番号「３」を選択した場合は、設定が継続します。後述する「自動測定・モードⅢの設定」を参照してください。)

※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

■ 決定キーを押さずに取消キーを押すと、「測定間隔」設定を中止します。この場合、「測定間隔」の内容は変更されません。

7.2.6.　自動測定・モードⅢ（項目番号３）の設定

●内容説明

・測定間隔に「自動測定・モードⅢ」を選択すると、２４時間を最大６ブロックに分割し測定間隔を設定することができます。

・引き続き、COND マークが点灯し上記の表示となります。

・項目番号の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
０１	０～２３	１ブロック開始時刻
０２	(注１)	測定間隔
０３	０～２３	１ブロック終了時刻（２ブロック開始時刻)
０４	(注１)	測定間隔
０５	０～２３	２ブロック終了時刻（３ブロック開始時刻) ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
０６	(注１)	測定間隔
０７	０～２３	３ブロック終了時刻（４ブロック開始時刻) ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
０８	(注１)	測定間隔
０９	０～２３	４ブロック終了時刻（５ブロック開始時刻) ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
１０	(注１)	測定間隔
１１	０～２３	５ブロック終了時刻（６ブロック開始時刻) ただし、前ブロックまでの範囲は設定出来ません。
１２	(注１)	測定間隔
１３	１ブロック 開始時刻	６ブロック終了時刻 ただし、１ブロック開始時刻を強制入力します。

注１： 設定値の範囲は、「OFF, 5, 10, 15, 20, 30, 60, 120」とします。

●設定手順

① 「7.2.5 測定間隔設定」で項目番号３を選択して 決定 キーを押し、「自動測定・モードⅢ」の設定を行います。１ブロックの開始時刻と測定間隔と終了時刻の設定方法を例に説明します。２ブロック以降も同様に設定してください。

② 項目番号０１（１ブロックの開始時刻）を表示します。開始時刻の設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押して変更してください。
※設定例では、項目番号０１（１ブロックの開始時刻）の設定値を１（開始時刻１時）に変更しています。

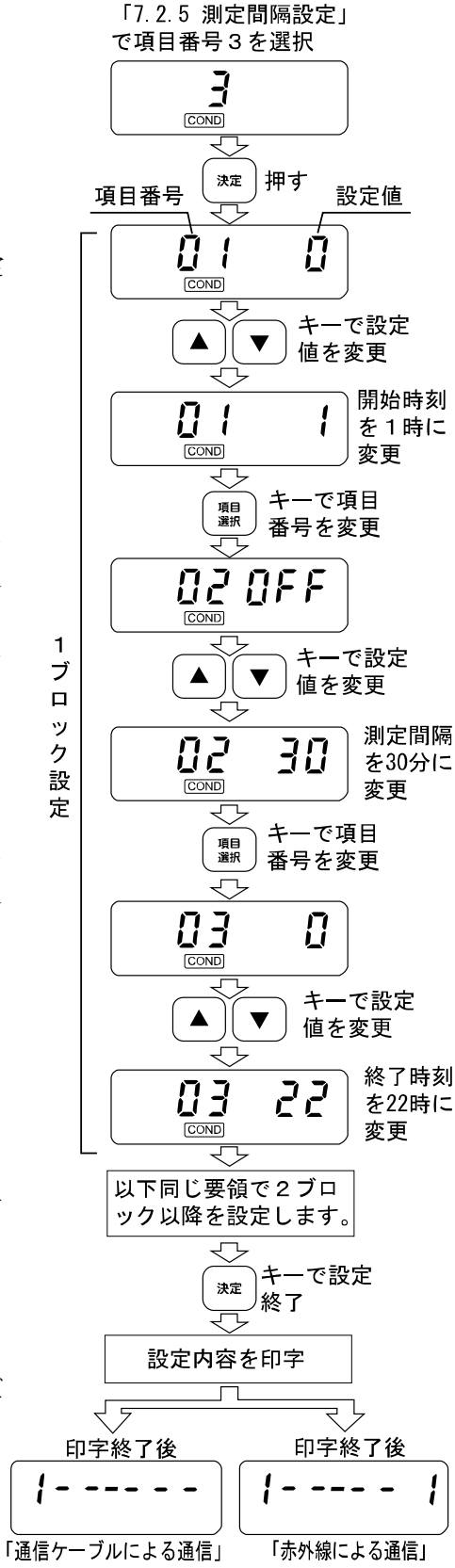
③ 項目選択 キーを押して項目番号０２（１ブロックの測定間隔）の表示にします。測定間隔の設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押して変更してください。
※設定例では、項目番号０２（１ブロックの測定間隔）の設定値を３０（３０分）に変更しています。

④ 項目選択 キーを押して項目番号０３（１ブロックの終了時刻）の表示にします。終了時刻の設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押して変更してください。なお、１ブロックの終了時刻が自動的に２ブロックの開始時刻となります。
※設定例では、項目番号０３（１ブロックの終了時刻）の設定値を２２（２２時）に変更しています。

⑤ ２ブロック以降の設定が必要な場合は、同じ要領で項目番号を選択して設定値を設定しますが、設定に際しては後述の「●設定にあたっての注意事項」をよくご確認の上、行ってください。

⑥ 変更が終了したら 決定 キーを押し、設定を終了してください。

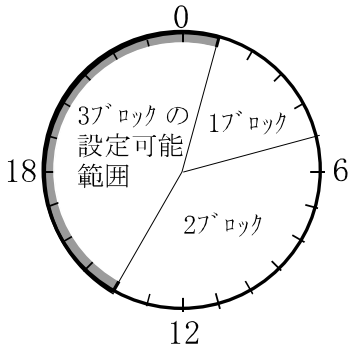
※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

■ 決定キーを押さずに取消キーを押すと、「測定間隔」設定を中止します。この場合、「測定間隔」の内容は変更されません。

●設定にあたっての注意事項



○設定時に前ブロックまでに選択した時間帯は、次ブロックでは設定できません。

［例］

１ブロック　　１時 ～　５時

２ブロック　　５時 ～１４時

この場合、３ブロックの終了時刻（項目番号「０７」）で選択できる設定値は、１４時 ～ ２３時、０時 ～ １時までの範囲となります。

項目番号	設定値	設定内容
０１	１	１ブロック開始時刻
０２	－	測定間隔
０３	５	１ブロック終了時刻（２ブロック開始時刻）
０４	－	測定間隔
０５	１４	２ブロック終了時刻（３ブロック開始時刻）
０６	－	測定間隔
０７	１４ ～ ２３ ０ ～ １	３ブロック終了時刻（４ブロック開始時刻） 前ブロックまでの範囲は設定出来ません。

○６ブロックに満たない場合でも、全ブロックで２４時間になりますと次ブロックを設定することは出来ません。

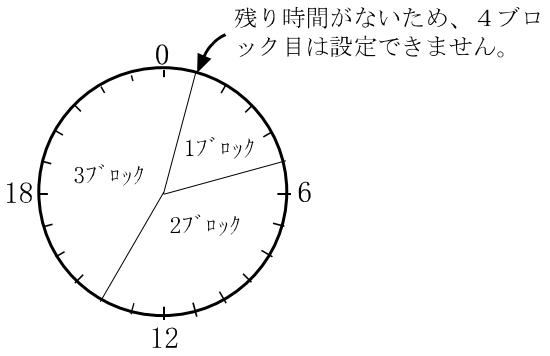
［例］

１ブロック　　１時 ～　５時

２ブロック　　５時 ～１４時

３ブロック　１４時 ～　１時

この場合、項目選択 キーを押しても４ブロックの測定間隔の設定（項目番号「０８」）は表示せず、項目番号「０１」を表示します。



○測定間隔に「１２０分」を選択した場合、そのブロックの終了時刻は、ブロックの時間帯が２時間おきになるように表示します。

［例］

１ブロック開始時刻　　１時

１ブロック測定間隔　　１２０分

この場合、１ブロックの終了時刻（項目番号「０３」）は、設定値の表示が ″1･3･5･7･9･11･13･15･17･19･21･23″ となります。

○１時間しかない最終ブロックは、測定間隔に「１２０分」を表示しません。

※最終ブロックとは、前のブロックまでに２３時間分を設定している場合の次のブロックです。

［例］

１ブロック開始時刻　　０時

１ブロック測定間隔　　６０分

１ブロック終了時刻　　２３時

この場合、２ブロックの測定間隔（項目番号「０４」）では、″120″ の設定値は表示しません。

7.2.7.　データクリア

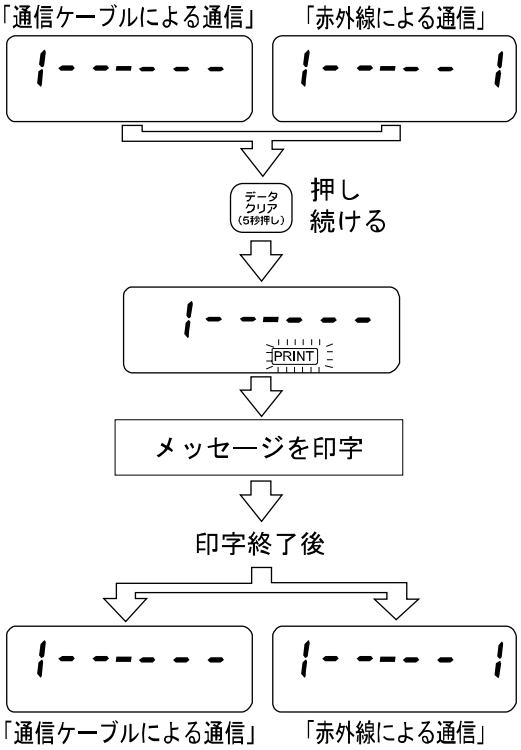
⚠注意	
❗	■ 「データクリア」すると、血圧計の測定データは消去され復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの処理を完了してから「データクリア」を行ってください。 ■ 血圧計を新しい装着者（被験者）に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。

●内容説明

・データクリアは、血圧計（TM-2430シリーズ）の測定データを消去します。

●手順

○ 通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で
データクリア（５秒押し） キーを押し続けます。１秒毎に
ブザーが「ピッ」となり、５秒後に長くブザーが鳴ります。
・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEARD」との
メッセージをプリントします。
・「MEMORY CLEAR FAILED」のメッセージをプリントしたときは
データクリア（５秒押し） キーを正しく押してください。



お知らせ
■ データクリア（５秒押し） キーを５秒間押し続けなかった場合、測定データは消去されません。この場合も「MEMORY CLEAR FAILED」とプリントします。

7.2.8.　標準設定（標準設定/データクリア）

⚠注意	
❗	■ 「標準設定(データクリア)」キーを押すと、血圧計（TM-2430 シリーズ）に下記項目を設定し、同時に血圧計の測定データをデータクリアします。測定データは復帰できませんのでご注意ください。 必ず測定データの処理を完了してから「標準設定(データクリア)」を行ってください。 ■ 血圧計を新しい装着者（被験者）に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。

●内容説明

・「標準設定/データクリア」は、血圧計(TM-2430 シリーズ）の各設定項目（表示 ON/OFF、ID、現在時刻、測定間隔）を標準的パターンで一括に設定する機能です。
・各項目設定後、血圧計の内部測定データを消去（データクリア）します。
・一括設定完了後、設定値をプリントします。標準パターンの設定は次のとおりです。

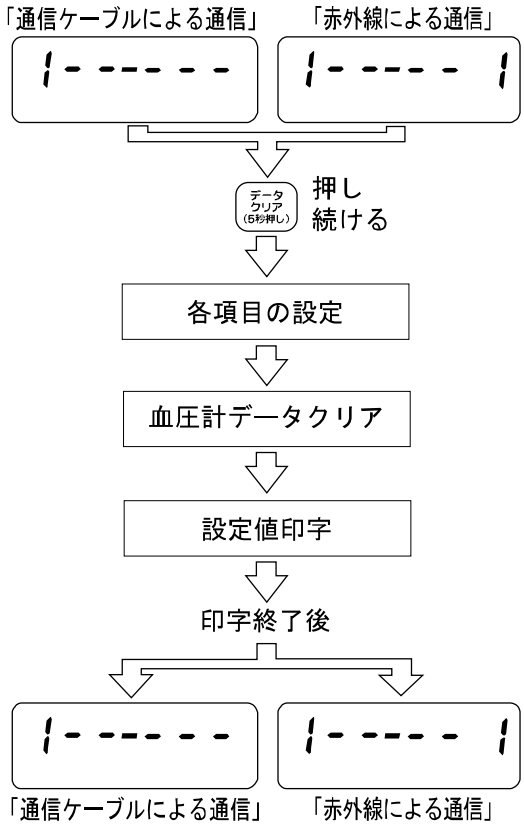
設定項目	設定内容
表示ON/OFF	ON（血圧測定の結果を表示する）
ID	血圧計（TM-2430 シリーズ）に設定されている ID 値
時刻	本機（TM-2483）の現在日付時刻値
測定間隔	自動測定モードⅢ 06:00～05:59　30 分間隔
測定データ	測定データを消去する（データクリア）

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「7.2.1　通信の準備」参照）で標準設定データクリア（５秒押し）キーを押し続けます。
１秒毎にブザーが「ピッ」となり、５秒後に長くブザーが鳴ります。
５秒間押し続ける前に操作を中断すると「AUTO / CLEAR FAILED」とプリントします。

② 一括設定を開始します。
各項目設定/データクリア後、設定値をプリントします。
・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEARD」とのメッセージをプリントします。
・測定データの消去が失敗すると、「MEMORY CLEAR FAILED」とのメッセージをプリントします。

③ 一括設定/印字を完了すると、スタンバイ状態に戻ります。



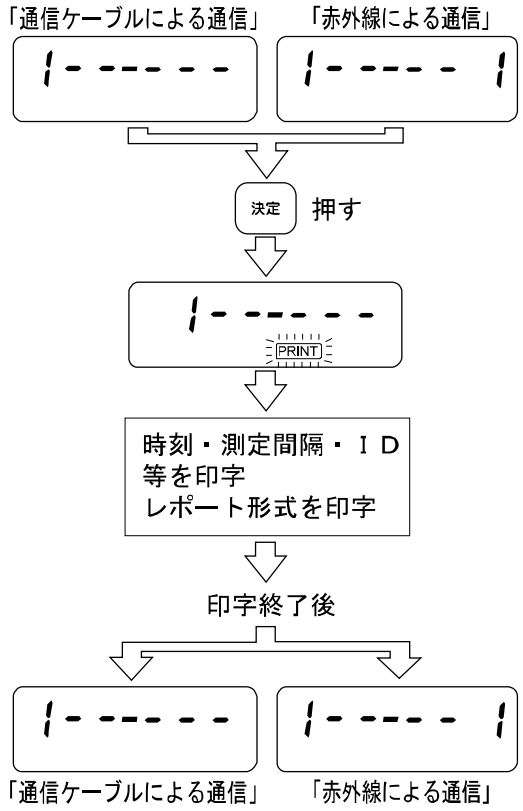
7.2.9.　設定内容印字

●内容説明

・血圧計（TM-2430シリーズ）に設定している 時刻、測定間隔、ＩＤ等をプリントします。
・本機（TM-2483）に設定しているレポート形式をプリントします。

●手順

○通信準備が終了した状態（「7.2.1 通信の準備」参照）で 決定 キーを押します。プリントを開始します。



お知らせ

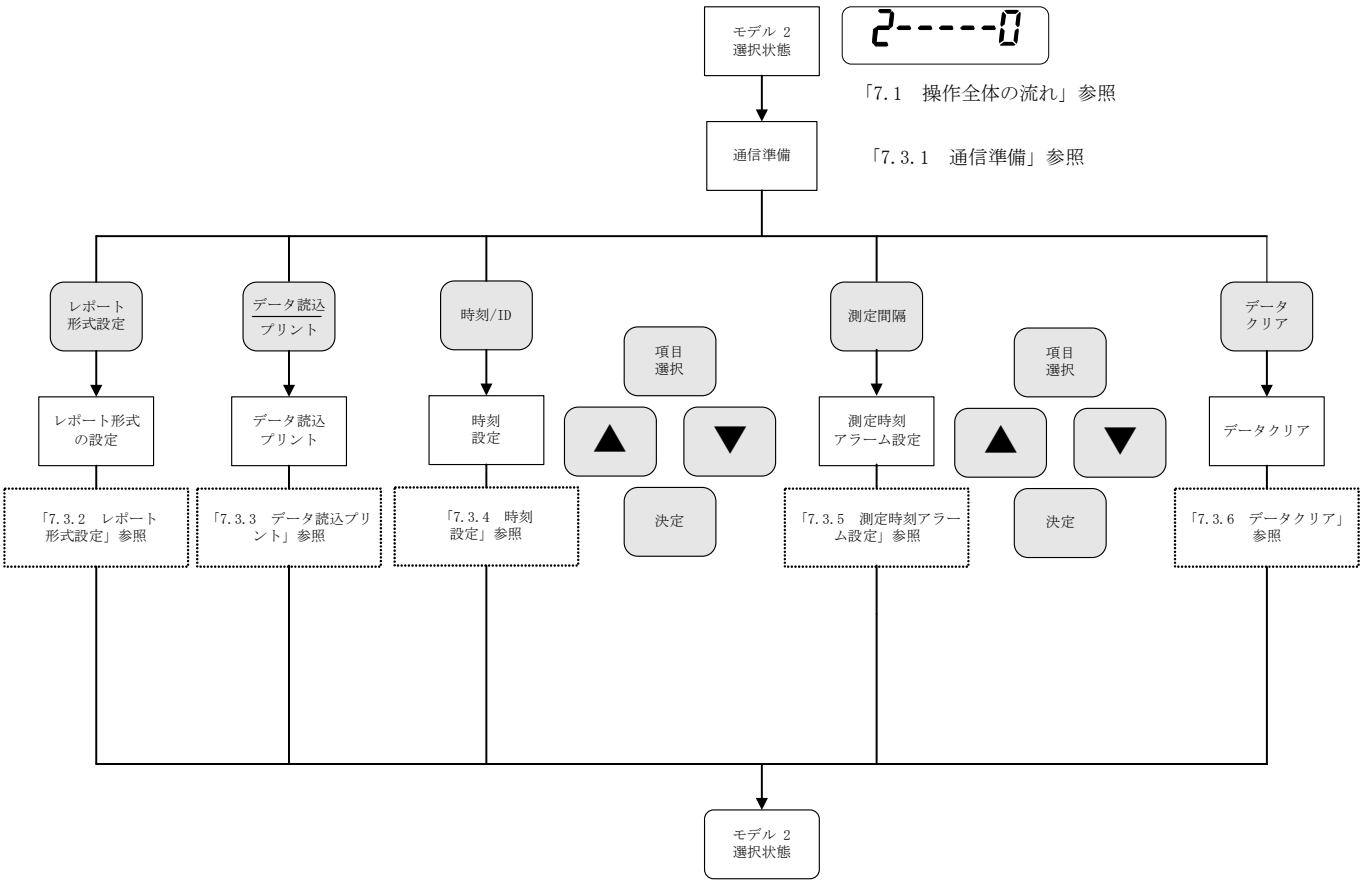
■ 血圧計を接続していない場合は、レポート形式のみをプリントします。

7.3.　モデル　2の操作・設定内容

「7.1 操作全体の流れ（7.1.1 モデル選択）」でモデル 2 を選択した場合、以降の操作概要を下図のフローチャートに示します。

モデル名：UA　PC シリーズ

“モデル 2”を選択した場合、本機 TM-2483 の使用可能な機能が限定されますので、使用可能な機能と各設定の内容について下表に示します。また、詳しい設定方法については、下表の“参照する章”を参考にして設定してください。



機能名称	内　容	参照する章
レポート形式設定	測定データのレポートの形式を設定します。	「7.3.2 レポート形式設定」
データ読込プリント	測定データの読込 および　測定データのプリント	「7.3.3 データ読込・プリント」
時刻設定	時刻の設定	「7.3.4 時刻設定」
測定時刻アラーム設定	血圧計の測定時刻アラームを設定します。	「7.3.5 測定時刻アラーム設定」
データクリア	血圧計の測定データを消去します。	「7.3.6 データクリア」

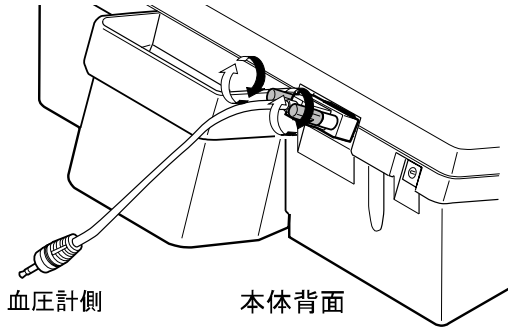
7.3.1. 通信の準備

モデル２では、通信方法は「通信ケーブルによる通信」のみです。

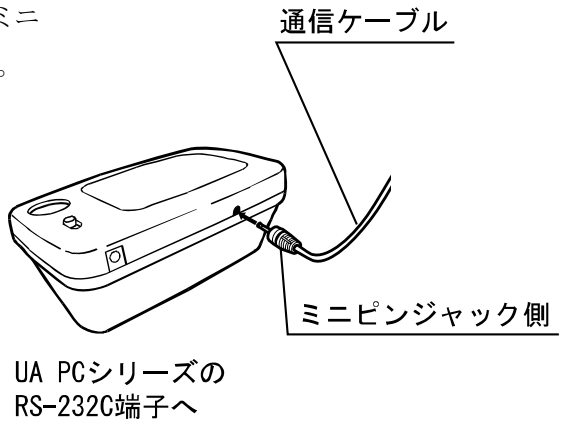
⚠注意	
❗	■ 通信が終了したら血圧計からケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると、血圧計の電池を消耗します。 ■ 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示に戻ります。

●手順

① 本機の背面のコネクタに、付属の通信ケーブルを接続します。
（「6. 使用前の準備」参照）



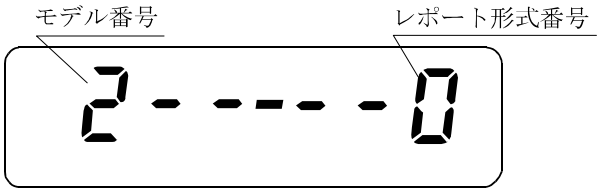
② 血圧計が時計を表示しているとき、付属の通信ケーブルのミニピンジャック側を血圧計（UA PC シリーズ）に接続します。



お知らせ
■ 血圧計の種類によっては、準備の方法が異なる場合があります。詳しくは血圧計の取扱説明書をご覧ください。

⚠注意	
❗	■ 血圧計のバッテリ残量が少ないと血圧計は通信モードになりません。 血圧計の表示が次の場合には、血圧計のバッテリを交換してください。 12:47

7.3.2.　レポート形式設定



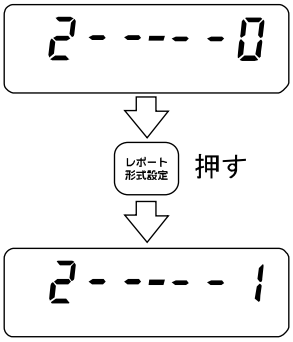
●内容説明

・レポート形式設定は、本機の各条件を設定します。血圧計の測定データおよび時刻等は、変更されません。
・レポート形式設定キーを押すと、上記の表示となります。
・レポート形式設定キーを押すたびに右の「レポート形式番号」の設定値が変わります。
・レポート形式は、電源をＯＦＦしても記憶しています。
・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

レポート形式番号	印字内容
0	テーブル＋血圧グラフ（時間軸）＋脈拍グラフ（時間軸） ・１ヶ月毎に処理します。
1	テーブル＋血圧・脈拍グラフ（非時間軸） ・全データを一括処理します。（グラフ表示はデータの記憶順です。）
2	テーブル

●設定手順

① レポート形式設定 キーを押します。
レポート形式番号が０，１，２と替わります。



② プリントしたい内容のレポート形式番号に合わせます。

※選択と同時に確定し、数秒でスタンバイ状態に戻ります。
※選択したレポート形式番号は、電源をＯＦＦしても記憶しています。

7.3.3.　データ読込／プリント

●内容説明

・データ読込／プリント キーを押すと、血圧計（UA　PC シリーズ）より測定データを読込みます。続いて、設定されているレポート形式にしたがい測定結果をプリントします。

・印字（プリント）の形式を選択できます。印字形式の内容については下表の通りです。

レポート形式番号（印字形式）	印字内容
0	テーブル＋血圧グラフ＋脈拍グラフ
1	テーブル＋血圧・脈拍グラフ
2	テーブル

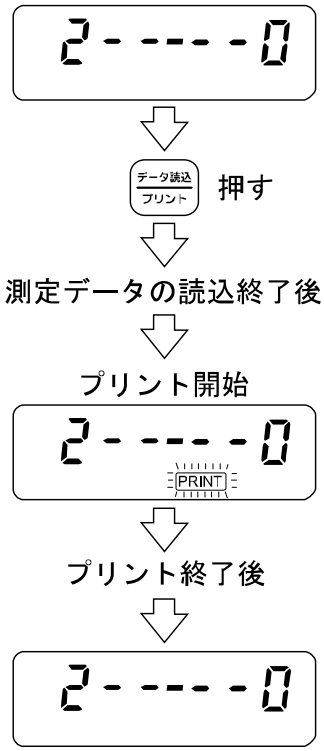
●手順

① 通信の準備が出来ているか確認してください。
（「7.3.1 通信の準備」参照）

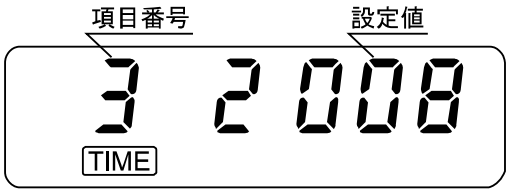
② データ読込／プリントキーを押します。
血圧計より測定データを読込みます。

③ つづいて、プリントを開始します。プリント中は PRINT マークが点滅します。

④ プリントが終了すると、PRINT マークが消灯します。



7.3.4.　時刻設定



●内容説明

・時刻設定は、血圧計（UA PC シリーズ）の時刻を設定します。
・時刻／ＩＤ キーを押すと、上記の表示となります。
・時刻の設定中は、TIME マークが点灯します。
・項目番号と設定値の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
3	1997 ～ 2096	年（西暦４桁）
4	1 ～ 12	月
5	1 ～ 31	日（年・月を参照し、設定範囲を自動調整）
6	0 ～ 23	時（２４時間表記）
7	00 ～ 59	分（常に２桁表示）

お知らせ

■　血圧計との接続が完了していない状態で時刻／ＩＤキーを押した場合、本機内の日付時刻の設定モードになります。
設定変更後、決定キーを押すと本機内の日付時刻設定を更新します。

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で 時刻／ＩＤ キーを押します。

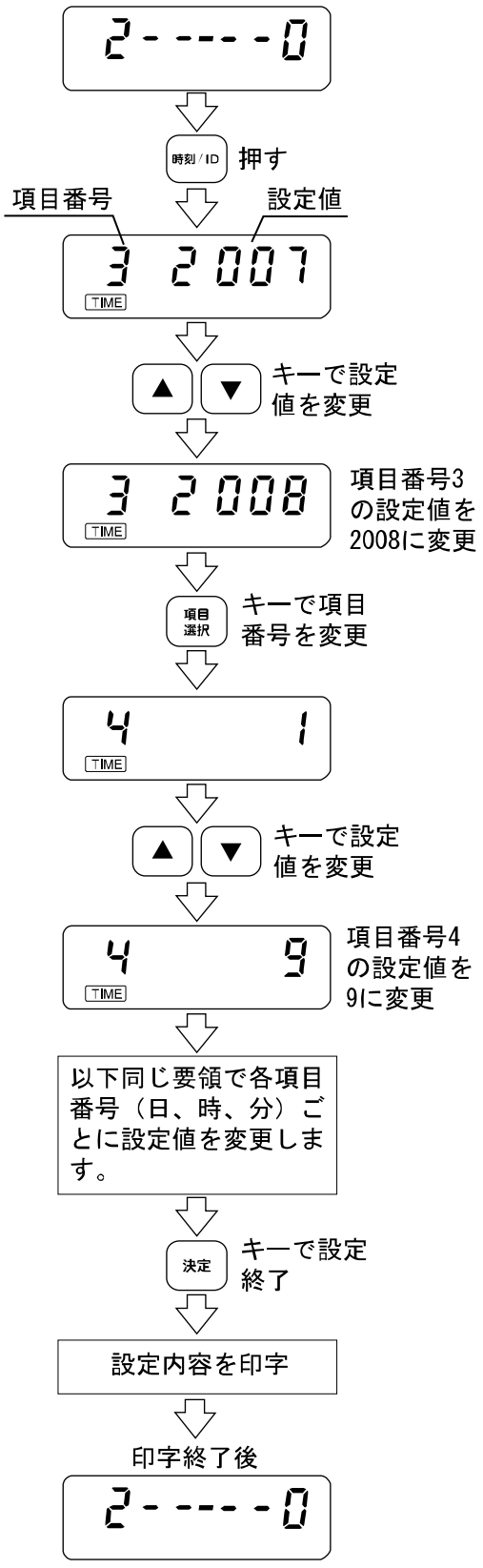
② TIME マーク が点灯し、項目番号 「３」と、接続されている血圧計に現在設定されている設定値を表示します。

③ 設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号３（西暦）の設定値を２００８（2008 年）に変更しています。

④ 項目番号を変更する場合は、項目選択 キーを押して変更してください。また、設定値を変更する場合は ▲ ▼ キーで変更してください。
※設定例では、項目番号４（月）の設定値を９（９月）に変更しています。

⑤ 以降の項目番号（日、時、分）の変更が必要な場合は、同じ要領で各項目番号を選択し、設定値を変更してください。

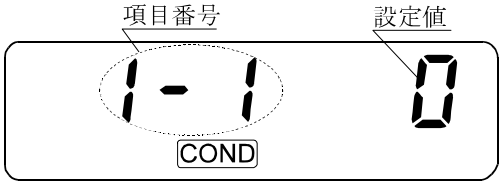
⑥ 変更が終了したら 決定 キーを押し、設定を終了してください。
※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

■ 決定キーを押さずに取消キーを押すと、「時刻」設定を中止します。この場合、「時刻」の内容は変更されません。

7.3.5.　測定時刻アラーム設定



●内容説明

・測定時刻アラーム設定は、血圧計（UA　PC シリーズ）に測定時刻アラームを設定します。最大６個の時刻を設定できます。

・ 測定間隔 キーを押すと、上記の表示となります。

・測定時刻アラームの設定中は、 COND マークが点灯します。

・項目番号の説明を下表に示します。

項目番号	設定値の範囲	設定内容
１－１	OFF, 0～23	１回目測定時間　(時)
１－２	0～59	１回目測定時間　(分)
２－１	OFF, 0～23	２回目測定時間　(時)
２－２	0～59	２回目測定時間　(分)
３－１	OFF, 0～23	３回目測定時間　(時)
３－２	0～59	３回目測定時間　(分)
４－１	OFF, 0～23	４回目測定時間　(時)
４－２	0～59	４回目測定時間　(分)
５－１	OFF, 0～23	５回目測定時間　(時)
５－２	0～59	５回目測定時間　(分)
６－１	OFF, 0～23	６回目測定時間　(時)
６－２	0～59	６回目測定時間　(分)

※ 測定時刻アラームの詳細については、血圧計（UA　PC シリーズ）の取扱説明書をよくお読みください。

●設定手順

① 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で 測定間隔 キーを押します。

② COND マーク が点灯し、接続されている血圧計に設定されている１回目の測定時間の時刻情報を表示します。

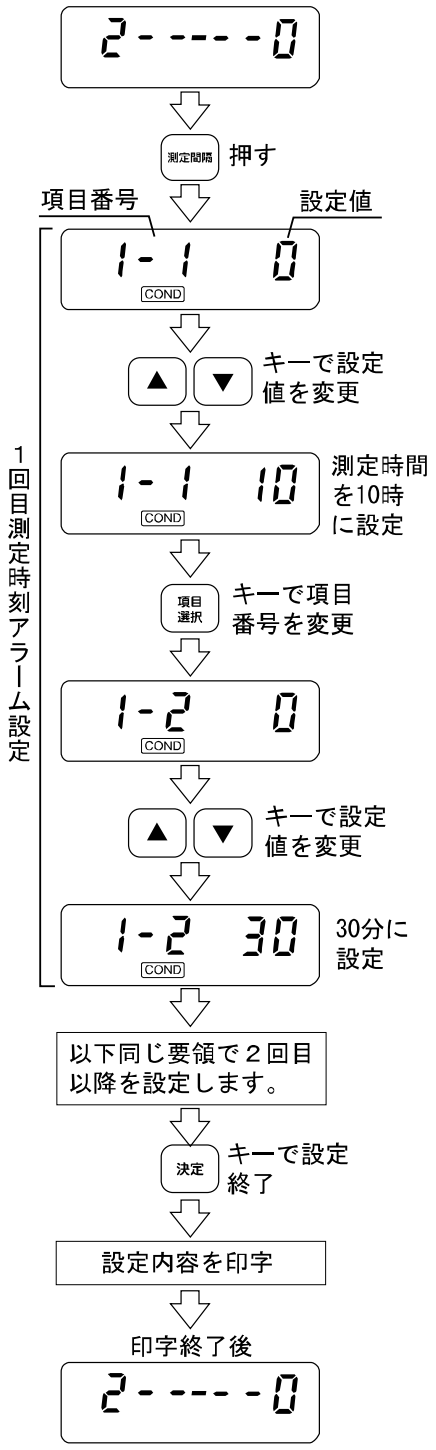
③ 設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーを押し変更してください。
※設定例では、項目番号１（１回目の測定時間（時））の設定値を１０（１０時）に変更しています。

④ 項目番号を変更する場合は、項目選択 キーを押し変更してください。また、設定値を変更する場合は、▲ ▼ キーで変更してください。
※設定例では、項目番号２（１回目の測定時間（分））の設定値を３０（３０分）に変更しています。

⑤ ２回目以降の測定時刻アラームの変更が必要な場合は、同じ要領で各項目番号を選択し、時・分の設定値を変更してください。

⑥ 変更が終了したら 決定 キーを押し、設定を終了してください。

※血圧計に設定された内容をプリントしますので、確認してください。



お知らせ

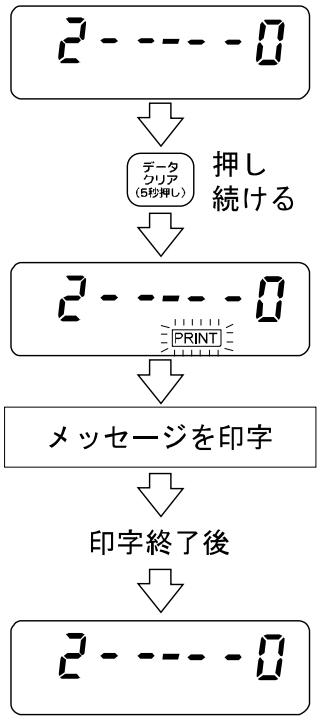
■ 決定キーを押さずに取消キーを押すと、「測定時刻アラーム」設定を中止します。この場合、「測定時刻アラーム」の内容は変更されません。

7.3.6.　データクリア

⚠注意	
❗	■ 「データクリア」すると、血圧計の測定データは消去され復帰できませんのでご注意ください。必ず測定データの処理を完了してから「データクリア」を行ってください。 ■ 血圧計を新しい装着者（被験者）に取り付ける場合、必ず測定データを消去してください。

●内容説明

・データクリアは、血圧計（UA　PCシリーズ）の測定データを消去します。



●手順

○ 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で データクリア（５秒押し） キーを押し続けます。１秒毎にブザーが「ピッ」となり、５秒後に長くブザーが鳴ります。

・測定データの消去が完了すると、「MEMORY CLEARD」とのメッセージをプリントします。

・測定データの消去が失敗すると、「MEMORY CLEAR FAILED」とのメッセージをプリントします。

お知らせ
■ データクリア キーを５秒間押し続けなかった場合、測定データは消去されません。この場合「MEMORY CLEAR FAILED」とプリントします。

7.3.7.　設定内容印字

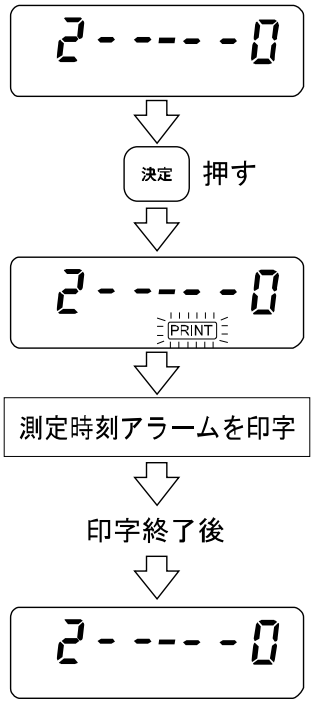
⚠注意	
❗	■ 通信が終了したら血圧計からケーブルを取り外してください。血圧計に通信ケーブルを挿入したまま放置すると血圧計の電池を消耗します。 ■ 通信ケーブルを取り外すと、血圧計は時計表示にも戻ります。

●内容説明

・血圧計に設定している 測定時刻アラームをプリントします。

●手順

① 通信準備が終了した状態（「7.3.1 通信の準備」参照）で、
決定キーを押します。プリントを開始します。



お知らせ
■ 血圧計を接続していない場合は、プリントしません。

8. 印刷

以下は、TM-2430 シリーズ、および、UA　PC シリーズを接続した場合の印刷例です。
印刷の出力結果は、機種によって異なる場合があるため、詳細は各血圧計本体の取扱説明書をご参照ください。

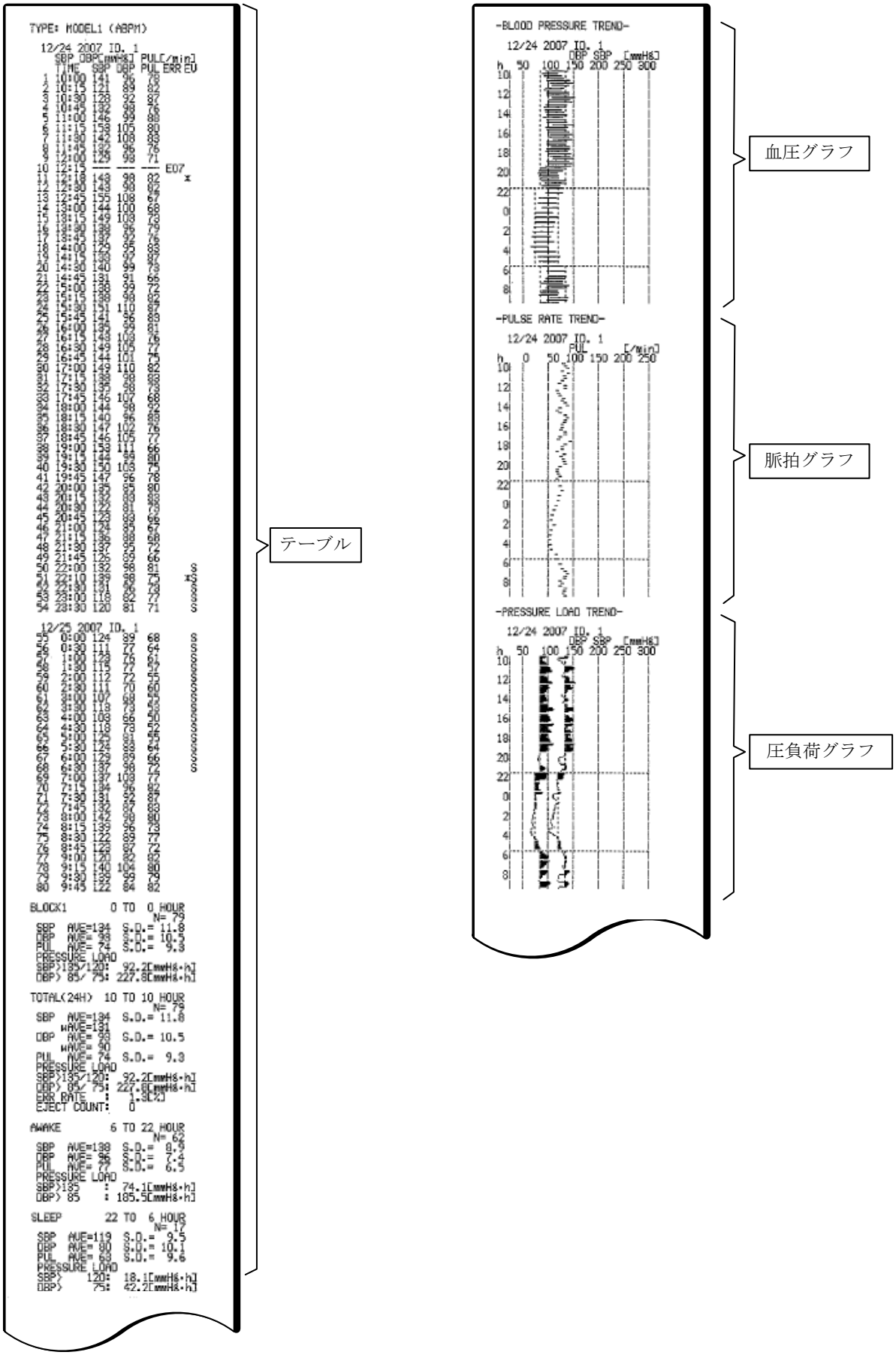
⚠注意	
	■ プリンタ用紙を印刷中に引っ張らないでください。 プリンタヘッドを損傷する恐れがあります。

8.1. 印刷例

次ページ参照ください。

8.1.1. 印刷例TM-2430シリーズの印字例 （FP）

24 時間毎に下記の順に印字します。



- 同時刻データの扱い

次のとおり、①、②の順で同時刻に連続して測定した場合

① 9：00　　測定値A
② 9：00　　測定値B

①②共にテーブル印字し、24時間統計処理等の解析対象とします。
グラフ印字の際は、最初の結果を印字します。(上記例の場合、①測定値Aのグラフを印字)

- 時間が戻った場合の処理

次のとおり、時刻設定を戻した場合

① 9：00　　測定値A
(時刻設定を8：00に変更して測定開始)
② 8：00　　測定値B
③ 8：30　　測定値C
④ 9：00　　測定値D

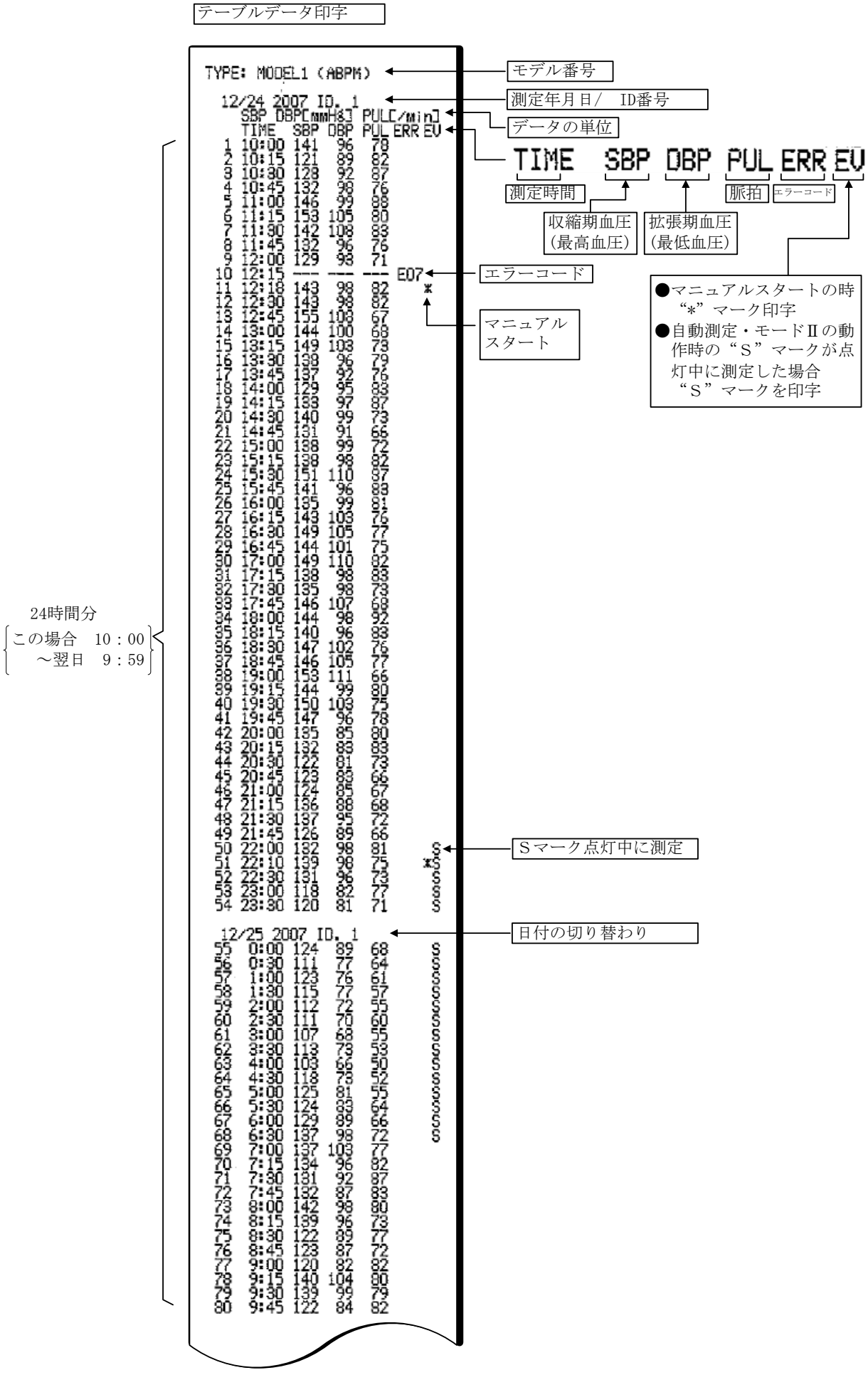
この場合、測定値すべてをテーブル印字します。
ただし、②③は除外マーク“AE”をつけ、24時間統計処理等の解析対象としません。
除外マーク“AE”は、EV欄に印字します。

除外マークをつけたデータ数を“EJECT COUNT”として印字します。

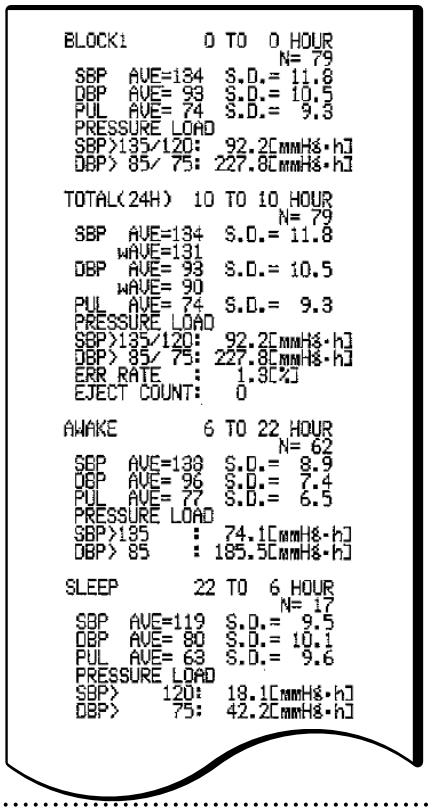
- 印字タイトルの説明

印字タイトル名	意 味
SBP	最高血圧
DBP	最低血圧
WAVE	24時間平均血圧 =（昼間平均値×覚醒時間＋夜間血圧平均値×睡眠時間）／24時間
EJECT　COUNT	除外マーク“AE”のカウント（回数）値

●印字例の説明（レポート形式設定　項目番号 2 の設定が FP の場合）



統計データ印字

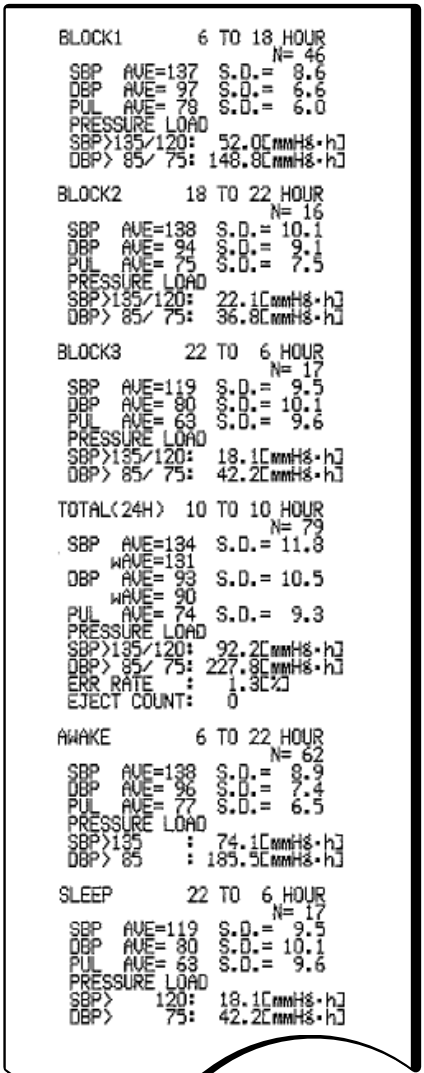


測定間隔ブロック毎に印字します。
ただし、測定データを読込んだ時、同時に
測定間隔ブロックの情報を読込みますので
実際の測定時のブロックには依存しません。

２４時間の統計結果です。

起床時の統計結果です。

就床時の統計結果です。



上段の統計データと同じ元データを使用し、測定間隔のブロックだけ変更して印字した例です。

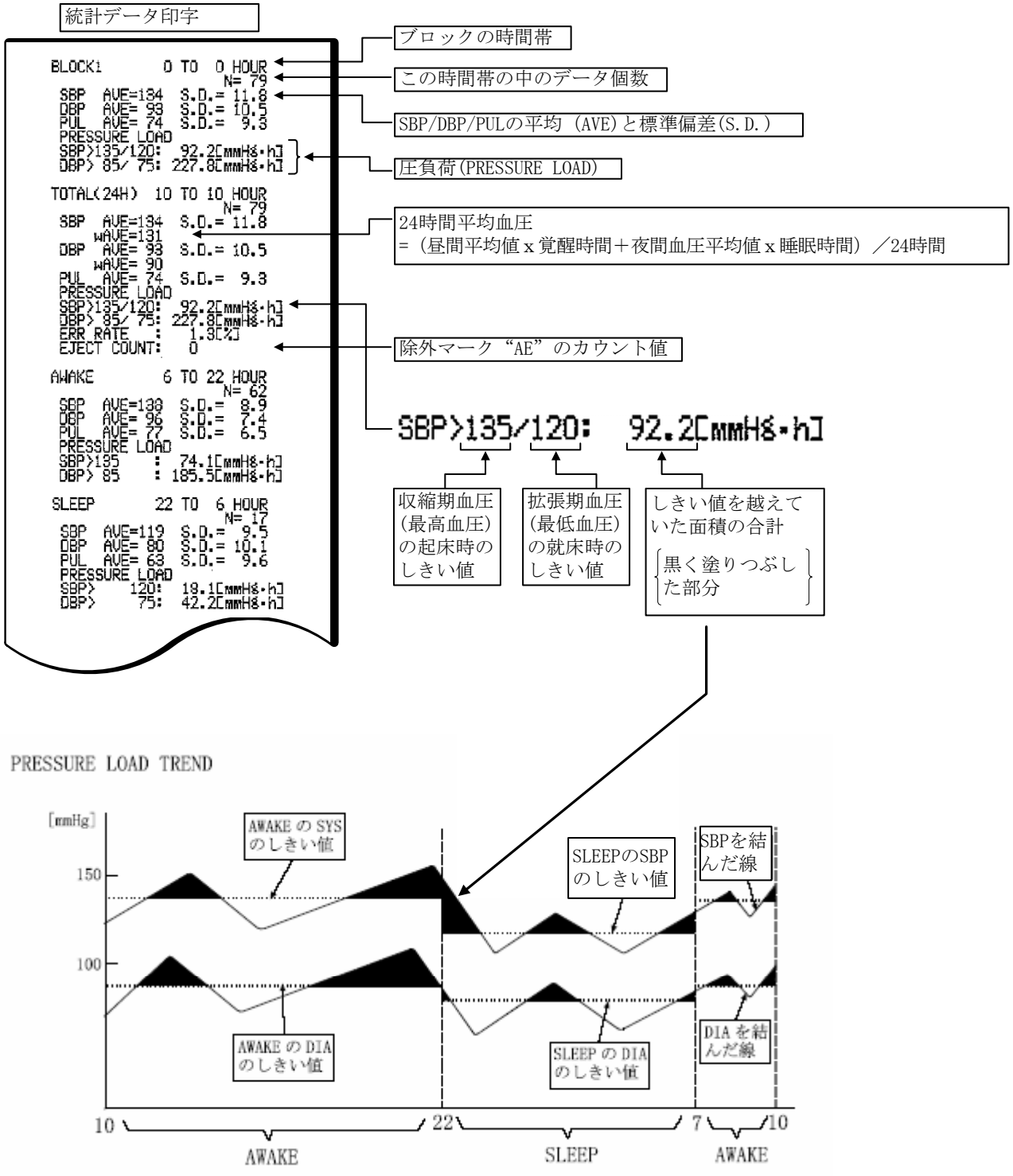
３ブロックに変更しました。

左図の例のように３ブロックに変更する方法を以下に示します。

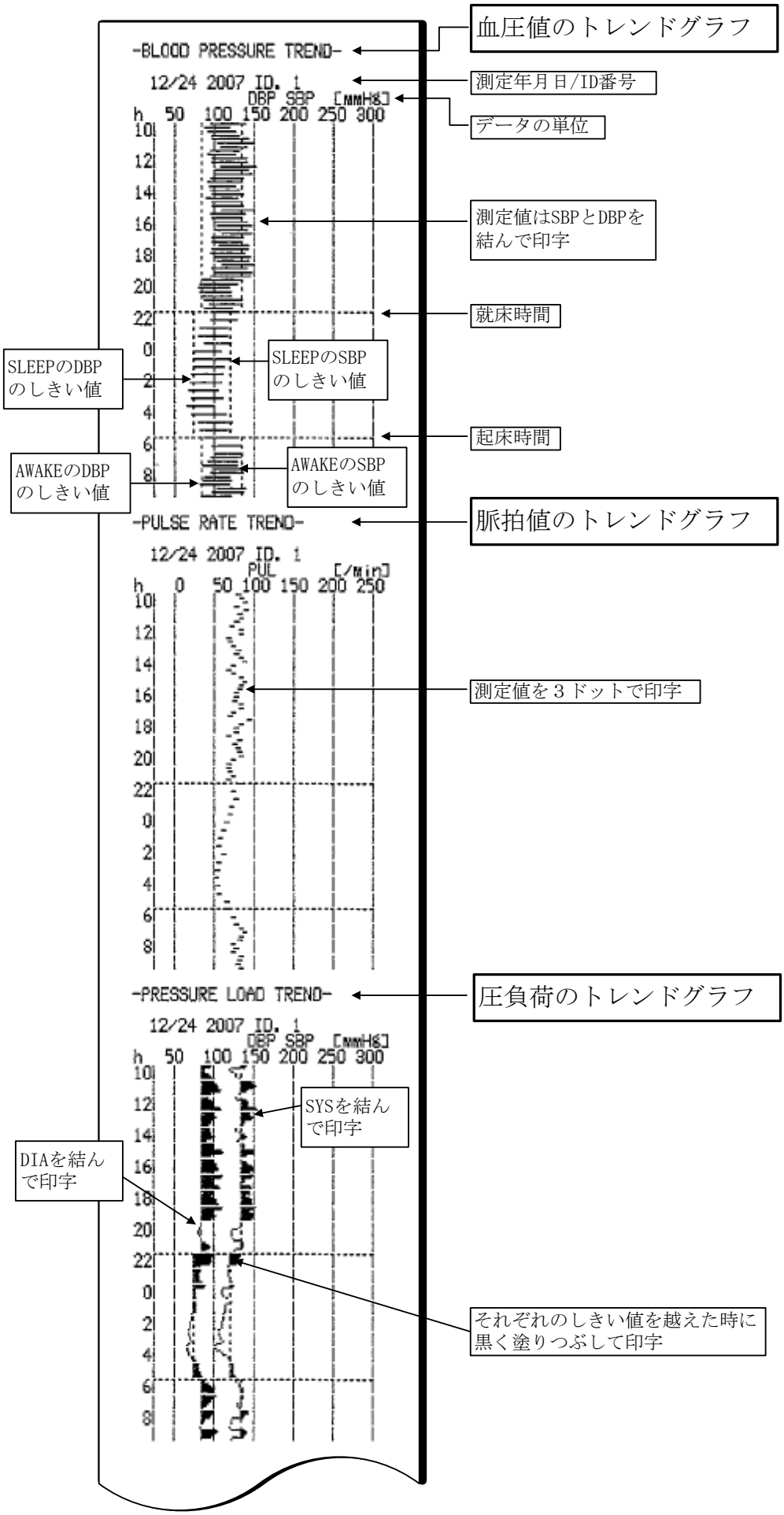
●変更方法
※血圧計は接続状態にしておいてください。
①血圧計の測定間隔のブロックを変更します。
（「7.2.5　測定間隔設定」参照）

② データ読込/プリント キーを押します。

TOTAL(24H) / AWAKE / SLEEP は上段の印字と同じになります。

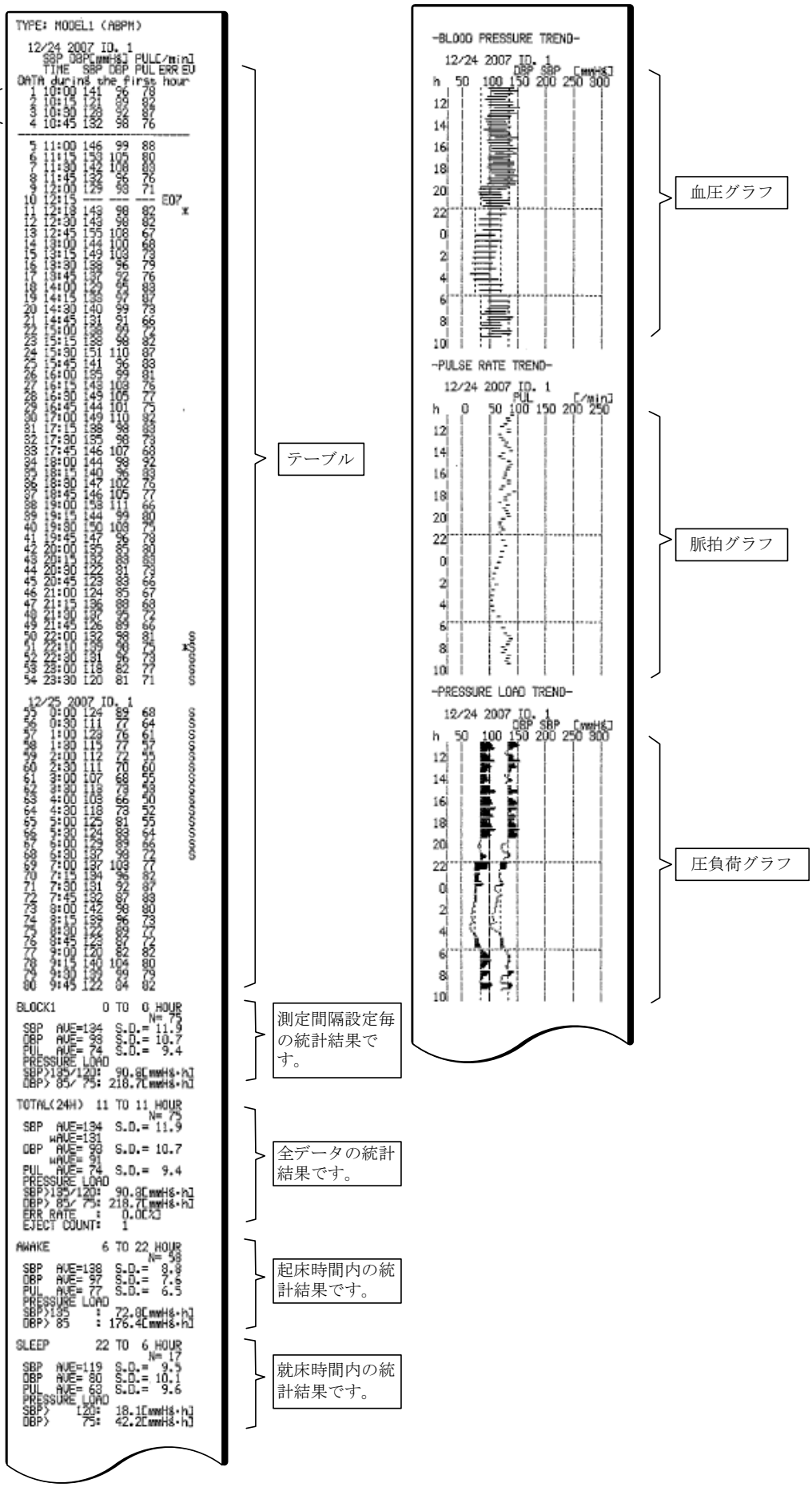

統計データ印字
BLOCK1 0 TO 0 HOUR
N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
DBP AVE= 93 S.D.= 10.5
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 92.2[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 227.8[mmHg·h]
TOTAL(24H) 10 TO 10 HOUR
N= 79
SBP AVE=134 S.D.= 11.8
wAVE=131
DBP AVE= 93 S.D.= 10.5
wAVE= 90
PUL AVE= 74 S.D.= 9.3
PRESSURE LOAD
SBP>135/120: 92.2[mmHg·h]
DBP> 85/ 75: 227.8[mmHg·h]
ERR RATE : 1.3[%]
EJECT COUNT: 0
AWAKE 6 TO 22 HOUR
N= 62
SBP AVE=130 S.D.= 8.9
DBP AVE= 96 S.D.= 7.4
PUL AVE= 77 S.D.= 6.5
PRESSURE LOAD
SBP>135 : 74.1[mmHg·h]
DBP> 85 : 185.5[mmHg·h]
SLEEP 22 TO 6 HOUR
N= 17
SBP AVE=119 S.D.= 9.5
DBP AVE= 80 S.D.= 10.1
PUL AVE= 63 S.D.= 9.6
PRESSURE LOAD
SBP> 120: 19.1[mmHg·h]
DBP> 75: 42.2[mmHg·h]
ブロックの時間帯
この時間帯の中のデータ個数
SBP/DBP/PULの平均（AVE)と標準偏差(S.D.)
圧負荷(PRESSURE LOAD)
24時間平均血圧
=（昼間平均値 x 覚醒時間＋夜間血圧平均値 x 睡眠時間）／24時間
除外マーク“AE”のカウント値
SBP>135/120: 92.2[mmHg·h]
収縮期血圧(最高血圧)の起床時のしきい値
拡張期血圧(最低血圧)の就床時のしきい値
しきい値を越えていた面積の合計
黒く塗りつぶした部分

PRESSURE LOAD TREND
[mmHg]
150
100
AWAKE の SYS のしきい値
SLEEPのSBP のしきい値
SBPを結んだ線
AWAKE の DIA のしきい値
SLEEP の DIA のしきい値
DIA を結んだ線
10
22
7
10
AWAKE
SLEEP
AWAKE

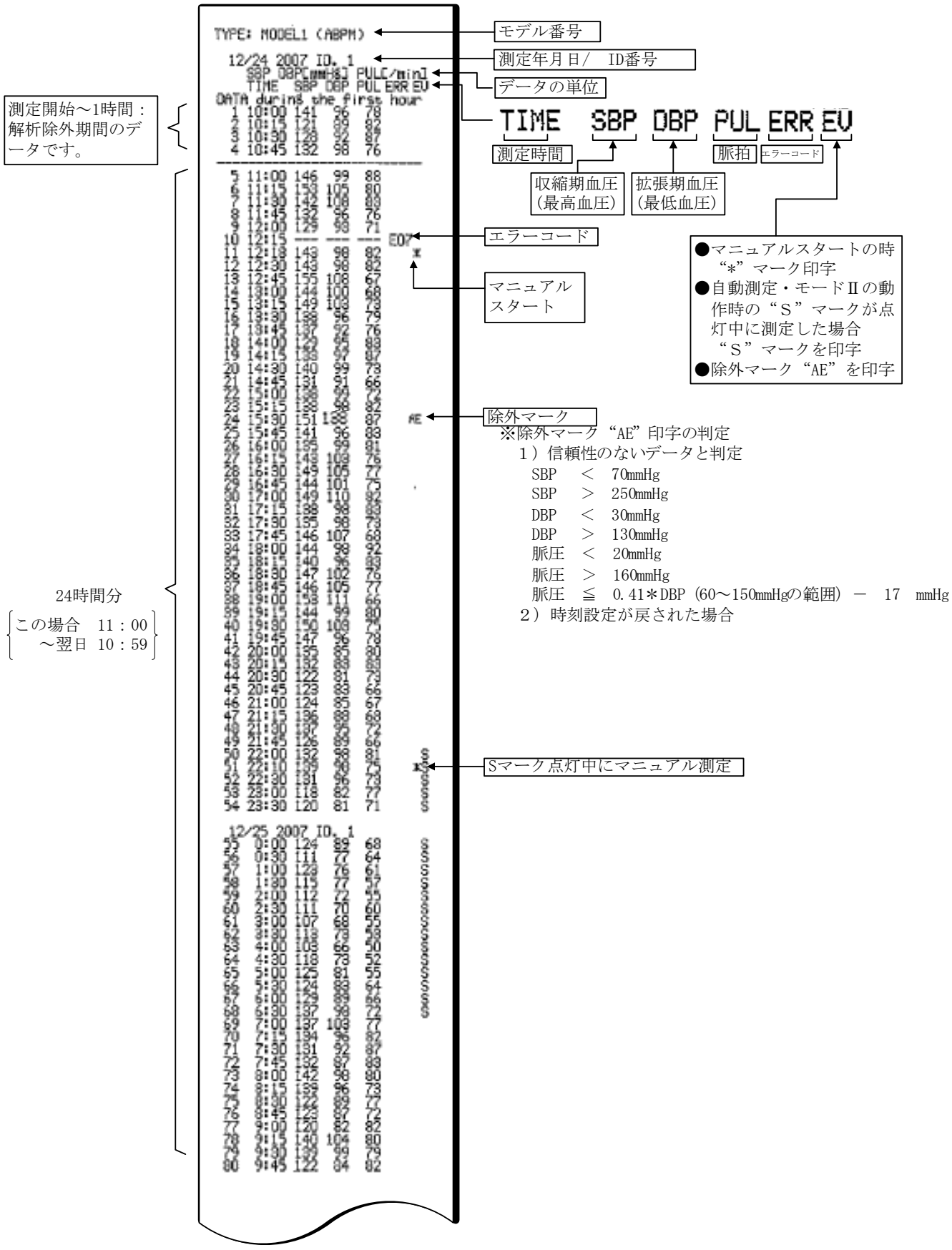

血圧値のトレンドグラフ
-BLOOD PRESSURE TREND-
12/24 2007 ID. 1
DBP SBP [mmHg]
h 50 100 150 200 250 300
測定年月日/ID番号
データの単位
測定値はSBPとDBPを結んで印字
就床時間
SLEEPのDBPのしきい値
SLEEPのSBPのしきい値
起床時間
AWAKEのDBPのしきい値
AWAKEのSBPのしきい値
脈拍値のトレンドグラフ
-PULSE RATE TREND-
12/24 2007 ID. 1
PUL [/min]
h 0 50 100 150 200 250
測定値を３ドットで印字
圧負荷のトレンドグラフ
-PRESSURE LOAD TREND-
12/24 2007 ID. 1
DBP SBP [mmHg]
h 50 100 150 200 250 300
SYSを結んで印字
DIAを結んで印字
それぞれのしきい値を越えた時に黒く塗りつぶして印字

8.1.2.　印刷例TM-2430シリーズの印字例　（AU）

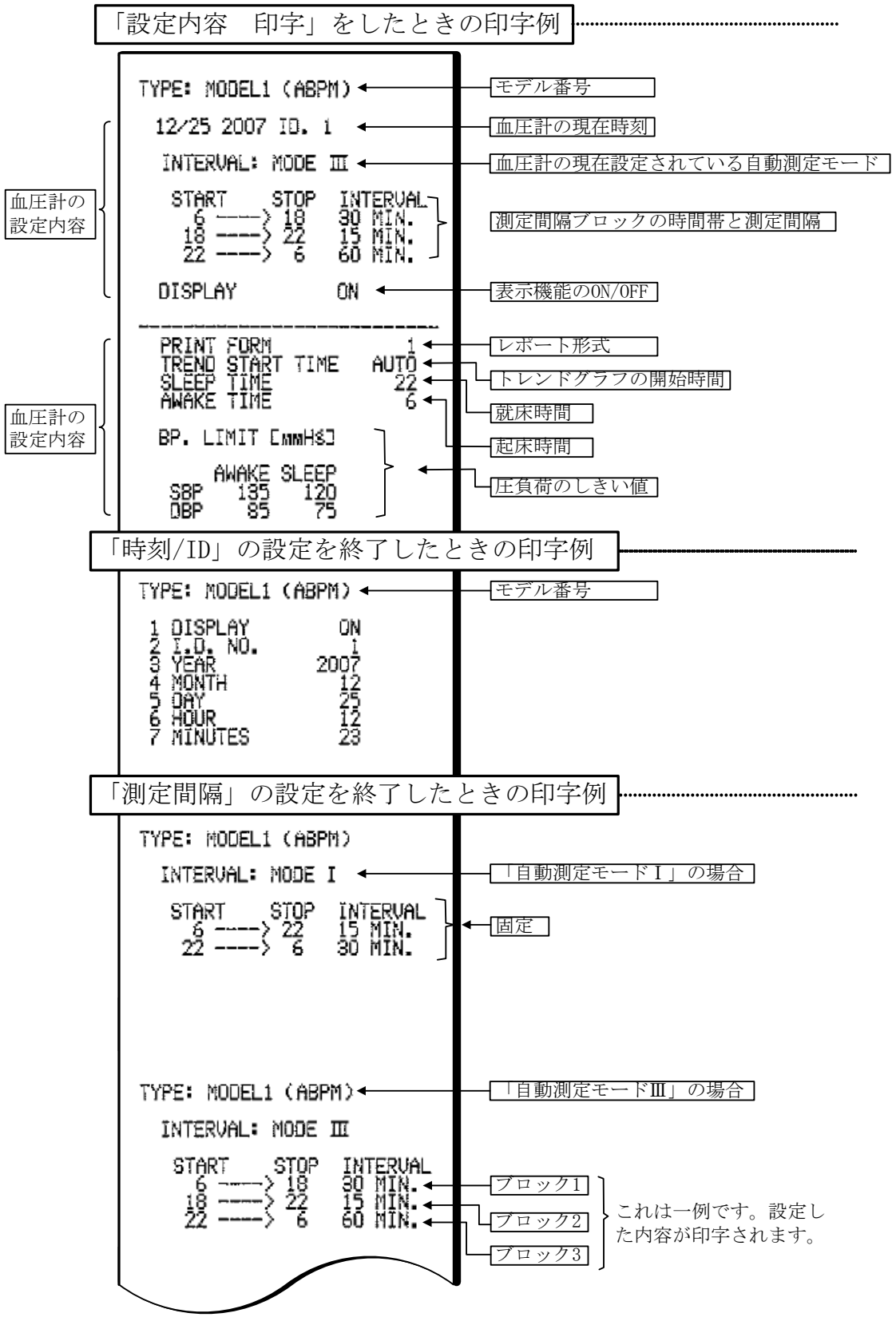
測定開始から１時間のデータ、及び信頼性のないデータを解析対象から除外し印字します。



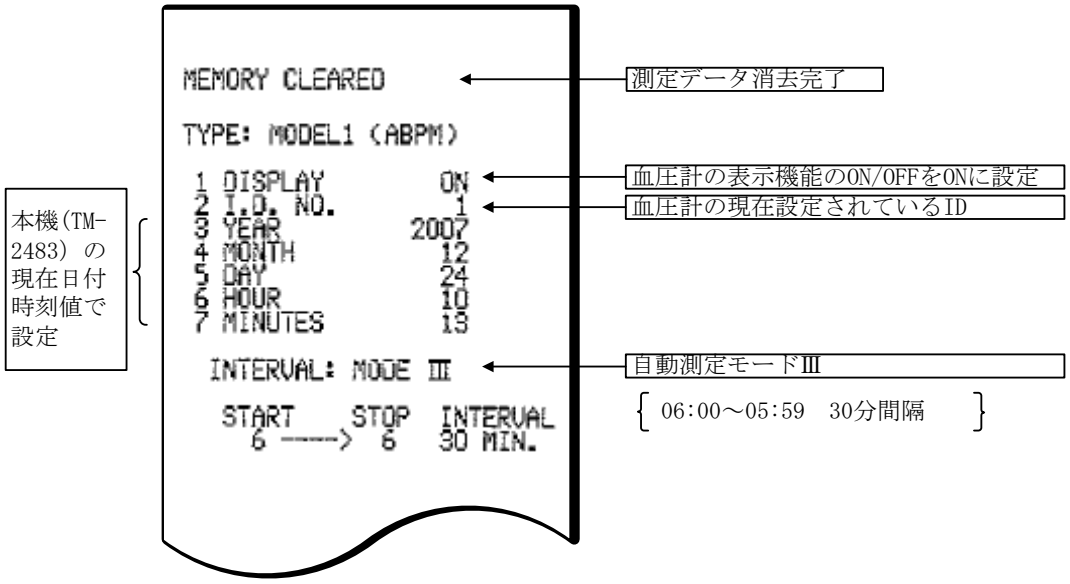
●印字例の説明（レポート形式設定　項目番号２の設定がAUの場合のテーブル印字）



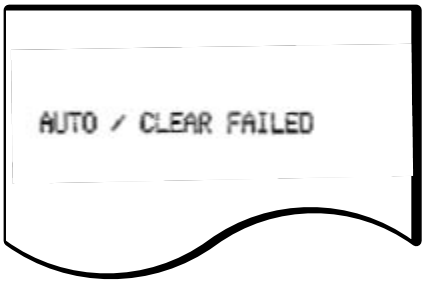
8.1.3.　印刷例TM-2430シリーズの印字例　（設定等）



「標準設定」を完了したときの印字例

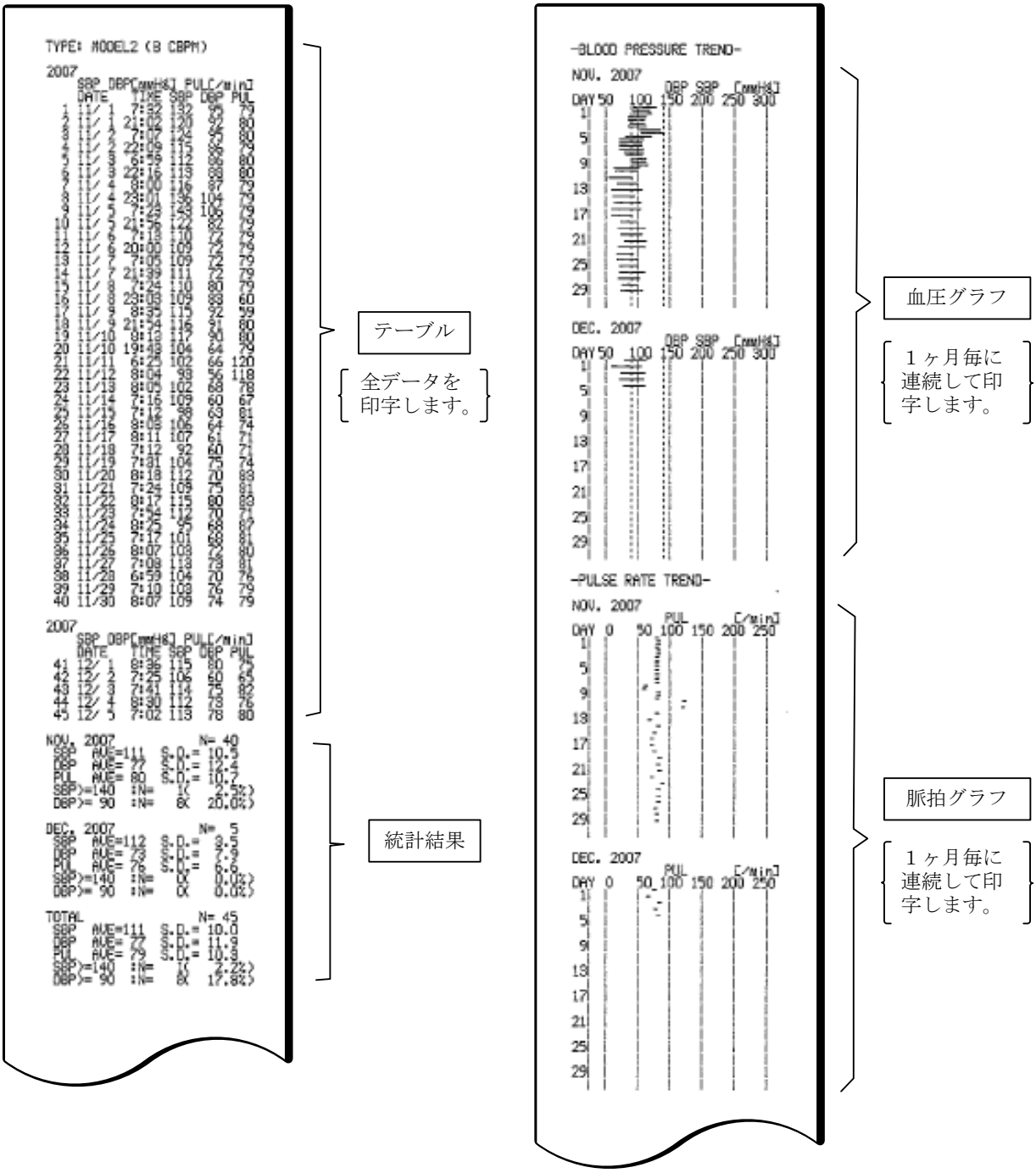


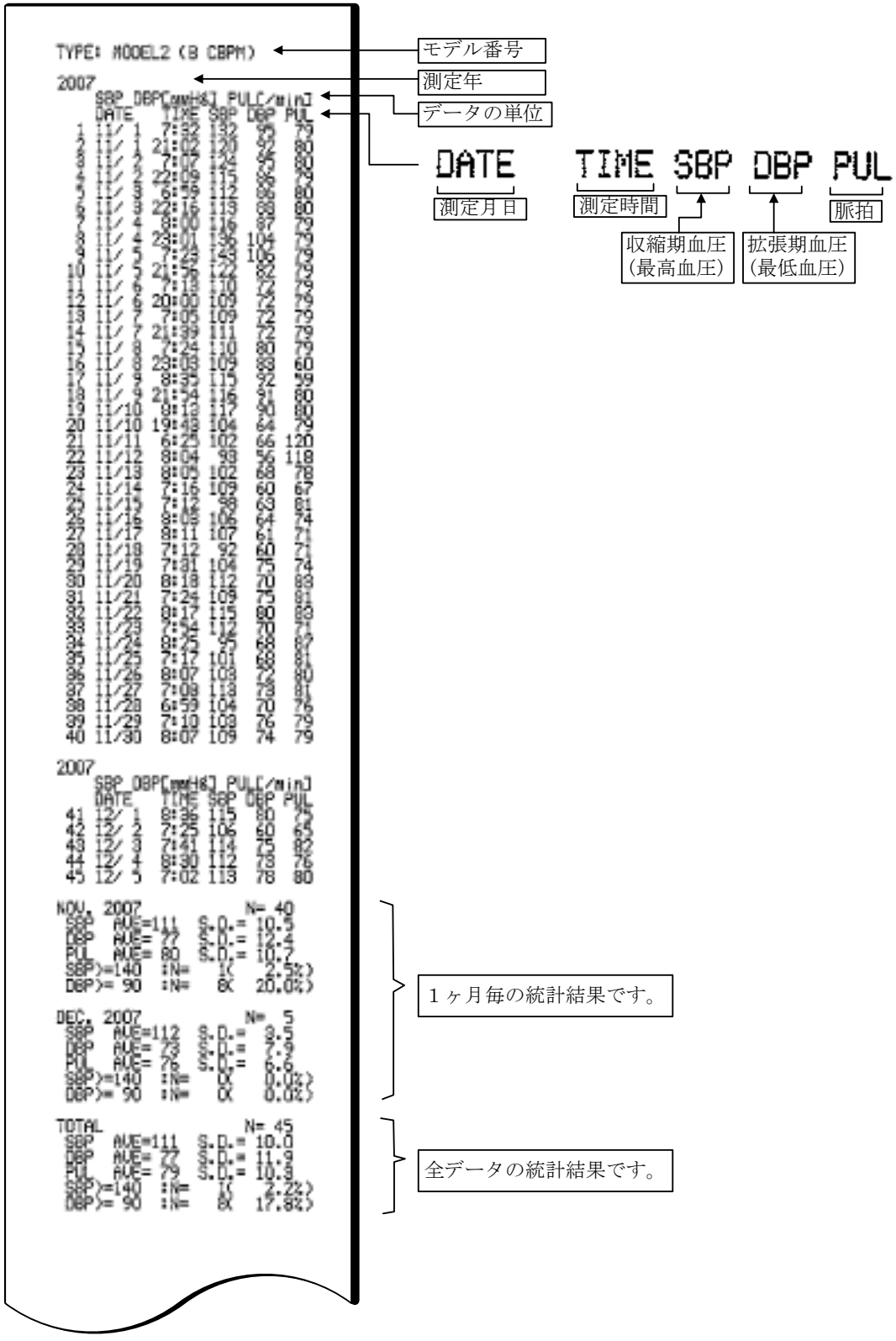
「標準設定」の途中でキーの押下を中断したときの印字例

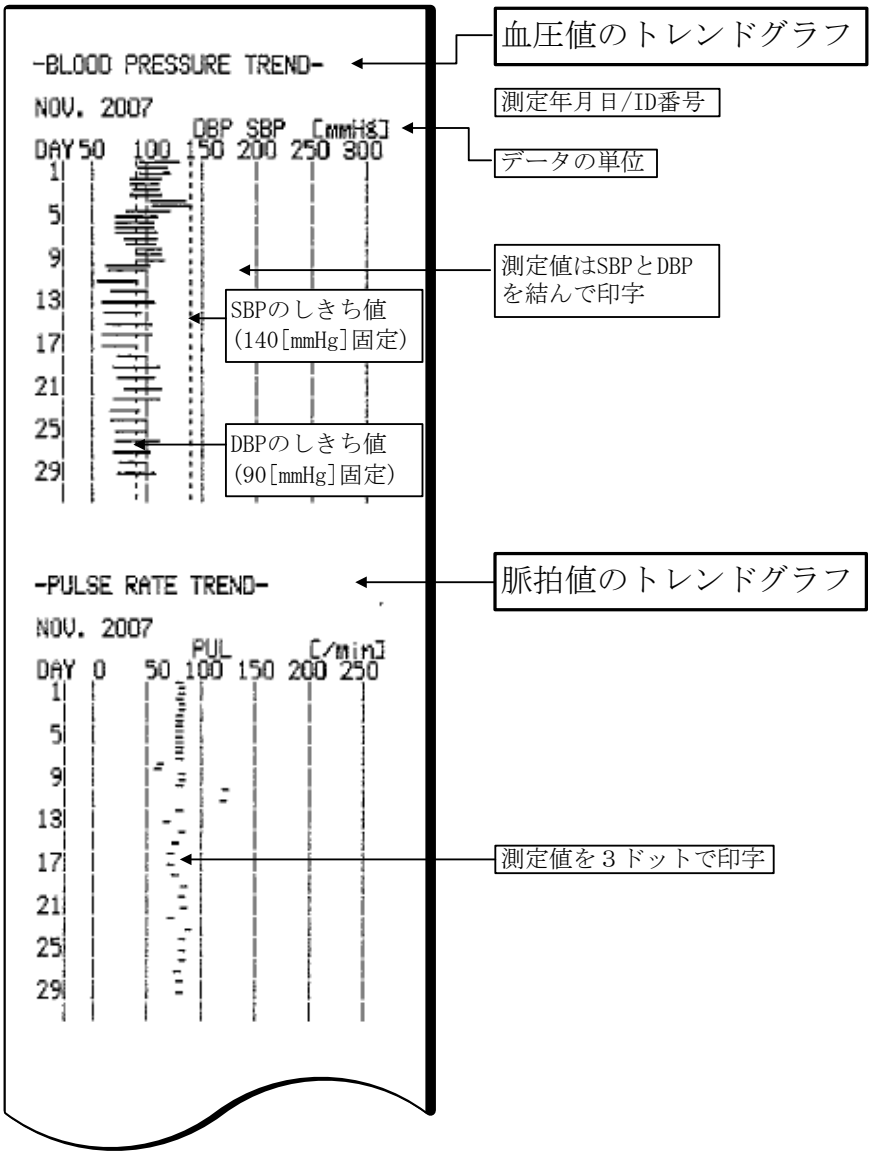


8.1.4.　UA PCシリーズの印字例

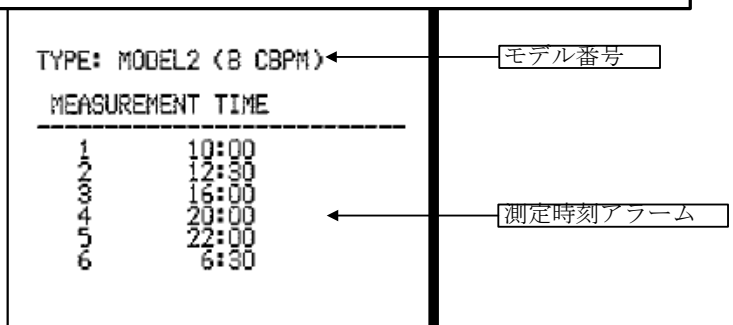
● 時間軸の印字例



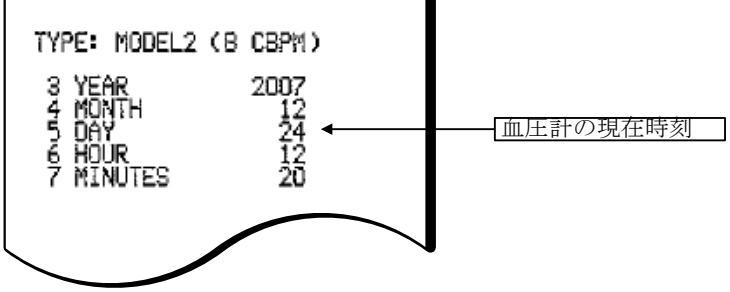

TYPE: MODEL2 (B CBPM)
2007
SBP DBP[mmHG] PULC/min]
DATE TIME SBP DBP PUL
1 11/ 1 7:33 132 95 79
2 11/ 1 21:02 120 92 80
3 11/ 2 7:07 124 85 80
4 11/ 5 22:06 115 88 82
5 11/ 3 6:59 112 86 80
6 11/ 3 22:16 113 88 80
7 11/ 4 8:00 116 87 79
8 11/ 4 23:01 136 104 79
9 11/ 5 7:29 143 106 79
10 11/ 5 21:56 122 82 83
11 11/ 6 7:18 110 74 78
12 11/ 6 20:00 109 72 76
13 11/ 7 7:05 109 72 79
14 11/ 7 21:39 111 72 79
15 11/ 8 7:24 110 80 79
16 11/ 8 23:03 109 88 60
17 11/ 9 8:35 115 92 59
18 11/ 9 21:54 116 91 80
19 11/10 8:13 117 80 80
20 11/10 19:48 104 64 79
21 11/11 6:25 102 66 120
22 11/12 8:04 98 56 118
23 11/13 8:05 102 68 78
24 11/14 7:16 109 60 67
25 11/15 7:12 98 63 81
26 11/16 8:06 106 64 74
27 11/17 8:11 107 61 71
28 11/18 7:12 92 60 71
29 11/19 7:01 104 75 74
30 11/20 8:18 112 70 83
31 11/21 7:25 109 75 81
32 11/22 8:17 115 80 89
33 11/23 7:54 112 70 71
34 11/24 8:25 95 68 87
35 11/25 7:17 101 58 81
36 11/26 8:07 103 72 80
37 11/27 7:08 113 78 81
38 11/28 6:59 104 70 76
39 11/29 7:10 103 76 79
40 11/30 8:07 109 74 79
2007
SBP DBP[mmHG] PULC/min]
DATE TIME SBP DBP PUL
41 12/ 1 8:36 115 80 79
42 12/ 2 7:25 106 60 65
43 12/ 3 7:41 114 75 82
44 12/ 4 8:30 112 78 76
45 12/ 5 7:02 113 78 80
NOV, 2007 N= 40
SBP AVE=111 S.D.= 10.5
DBP AVE= 77 S.D.= 12.4
PUL AVE= 80 S.D.= 10.7
SBP)=140 :N= 1(2.5%)
DBP)= 90 :N= 8(20.0%)
DEC, 2007 N= 5
SBP AVE=112 S.D.= 3.5
DBP AVE= 73 S.D.= 7.9
PUL AVE= 76 S.D.= 6.6
SBP)=140 :N= 0(0.0%)
DBP)= 90 :N= 0(0.0%)
TOTAL N= 45
SBP AVE=111 S.D.= 10.0
DBP AVE= 77 S.D.= 11.9
PUL AVE= 79 S.D.= 10.3
SBP)=140 :N= 1(2.2%)
DBP)= 90 :N= 8(17.8%)
モデル番号
測定年
データの単位
DATE
測定月日
TIME
測定時間
SBP
収縮期血圧
(最高血圧)
DBP
拡張期血圧
(最低血圧)
PUL
脈拍
１ヶ月毎の統計結果です。
全データの統計結果です。



「測定時刻アラーム」の設定を終了した時の印字

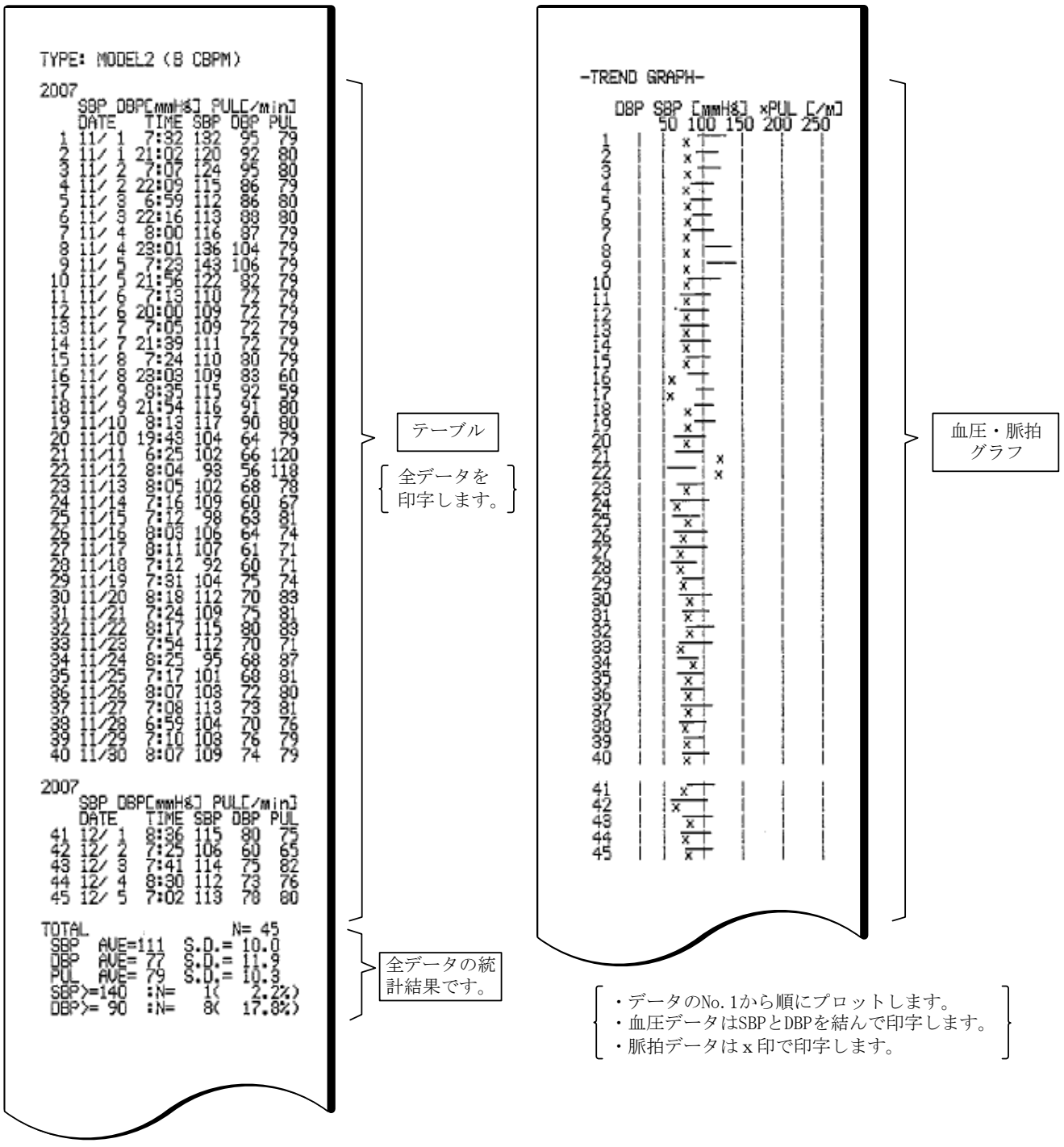


「時刻」の設定を終了した時の印字



●非時間軸の印字例

月毎にデータを一括処理します。



9. 保守

9.1. 保守点検と安全管理

本機の始業前点検などの日常管理は、本機の性能および安全性、有効性を維持するために保守管理する必要があります。
弊社血圧計の保守点検と併せて、本機の点検をお勧めします。

9.2. 清掃

⚠注意	
❗	■ 清掃を行う際は、必ず電源を切り、ＡＣアダプタをコンセントから抜いてください。 ■ 機器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本機の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。 機器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

本体

機器外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
清掃するときは、水にうすめた中性洗剤を使用してください。
血液、薬剤、汚物などが付着した時は、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

9.3. 修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記のチェック表および、次節のエラーコード表に該当する現象がないかお確かめください。これらの対処にもかかわらず、現象が再現する、あるいは改善されない場合は、弊社 ME 機器相談センターにお問合せください。

現　象	確認内容
画面が全く表示しない	■ 電池が消耗していませんか？電池を交換してください。 または専用ＡＣアダプタは接続されていますか？
動作しない	■ エラーコードが表示していませんか？ 「9.4　エラーコード表」を確認し、一旦電源を ON/OFF してください。
印字できない	■ 電池が消耗していませんか？ ■ 紙切れしていませんか？
通信できない	■ 本機と血圧計の通信ケーブルは接続していますか? または赤外線通信であれば、本機背面ポケットへの血圧計の挿入方向は正しいですか？

⚠警告	
	■ 本機の分解、および改造はしないでください。 火災・感電の原因になります。

9.4. エラーコード表

エラー番号	エラー内容	トラブル発生原因　または　トラブル解決方法
Ｅ０１	メモリ エラー	・ＡＣアダプタおよび電池を外し、もう一度差し込んでください。 電源をＯＮにしてください。 エラー表示が解消しない場合は、修理が必要です。
Ｅ０２		
Ｅ１１	通信 エラー	・通信ケーブルは、正しく接続していますか？ ・接続している血圧計と選択しているモデルは、合っていますか？ ・通信方式は正しいですか？（モデル１の場合） ・通信の準備は正しく出来ていますか？（モデルにより異なります。）
Ｅ１２	赤外線通信 デバイスのエラー	・ＡＣアダプタおよび電池を外し、もう一度差し込んでください。 電源をＯＮにしてください。 エラー表示が解消しない場合は、修理が必要です。
Ｅ２１	紙詰まり エラー	・紙は詰まっていませんか？

お知らせ

■ エラーを表示した場合、本機の電源を一度 ON／OFF してください。エラー発生状態では、そのまま継続して動作しません。

9.5. 廃棄

⚠注意

■ 機器を棄却するときは、機器内にある内蔵バックアップ電池（リチウム電池）を外してください。

本機の廃棄及びリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品　名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール
	袋	ビニール
本体内部	筐体	ABS 樹脂
	内部部品	一般部品
	シャーシ	鉄
	基板上の内蔵電池（バックアップ）	リチウム電池
	乾電池	単三形アルカリ乾電池　６本

10. アクセサリ

品　名	型　名
プリンタ用紙（５巻入り）	AX-PP147-S
通信ケーブル（モデル１、２用） ※付属ケーブルと同じ物です。	AX-KO1502
ＡＣアダプタ	AX-TB178

11. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

12. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。

- 本体 ····· ご購入より 12 ヶ月
- オプション ····· ご購入より 12 ヶ月

13. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、及び修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載している電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をした結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

13.1. 製品に関するご質問・ご相談窓口

- 弊社 ME 機器相談センターにお申し付けください。

MEMO

MEMO

MEMO